

VOC排出抑制に係る自主的取組の状況報告 平成30年度実績（概要版）

令和2年2月19日

1. 参加団体等について

平成30年度の自主的取組実績については、41の業界団体等（電機・電子業界は4団体合同で提出）20,500社以上の企業等から状況報告があった。

【VOC自主的取組の参加業界団体】

日本ガス協会 (9)	日本印刷産業連合会 (4, 716)
日本染色協会 (27)	ドラム缶工業会 (11)
日本製紙連合会 (45)	軽金属製品協会 (3)
日本鉄鋼連盟 (76)	日本プラスチック工業連盟 (18)
電機・電子4団体 (105)	日本オフィス家具協会 (23)
（電子情報技術産業協会	日本表面処理機材工業会 (24)
情報通信ネットワーク産業協会	日本自動車車体工業会 (195)
ビジネス機械・情報システム産業協会	日本接着剤工業会 (83)
日本電機工業会	プレハブ建築協会 (8)
日本塗料工業会 (78)	印刷インキ工業連合会 (40)
日本自動車部品工業会 (89)	日本工業塗装協同組合連合会 (78)
日本自動車工業会 (16)	日本ゴム工業会 (34)
線材製品協会 (8)	日本自動車車体整備協同組合連合会 (313)
日本伸銅協会 (7)	日本粘着テープ工業会 (10)
全国鍍金工業組合連合会 (110)	全国楽器協会 (2)
日本電線工業会 (113)	日本釣用品工業会 (19)
日本アルミニウム協会 (9)	日本金属ハウスウェア工業組合 (49)
日本建材・住宅設備産業協会 (33)	日本金属洋食器工業組合 (38)
天然ガス鉱業会 (4)	日本ガス石油機器工業会 (72)
石油連盟 (16)	全国石油商業組合連合会 (14, 002)
日本化学工業協会 (68)	

【VOC自主的取組支援団体】

- 産業環境管理協会 (20)
- 日本産業洗浄協議会

注) () 内は、参加企業数、-は、参加企業数の報告がなかったもの

2. 自主的取組における全国のVOC排出量について

平成30年度の状況報告を集計した結果、自主的取組における全国のVOC排出量は以下のとおりとなった。

表1 自主的取組における全国のVOC排出量の推移

(単位:万トン)

	平成 12年度	平成 17年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
排出量	62.2	49.3	45.1	39.8	36.9	34.4	32.7	31.7	31.6	30.3	29.3	27.0	26.2	25.7
増減率	—	▲20.8%	▲27.5%	▲36.0%	▲40.8%	▲44.7%	▲47.4%	▲49.1%	▲49.3%	▲51.4%	▲52.9%	▲56.6%	▲57.9%	▲58.6%

注) VOC排出量には、全国石油商業組合連合会の排出実績を含む。ただし、平成17年度から平成27年度まではデータがないことから、平成12年度から変化していないと仮定。

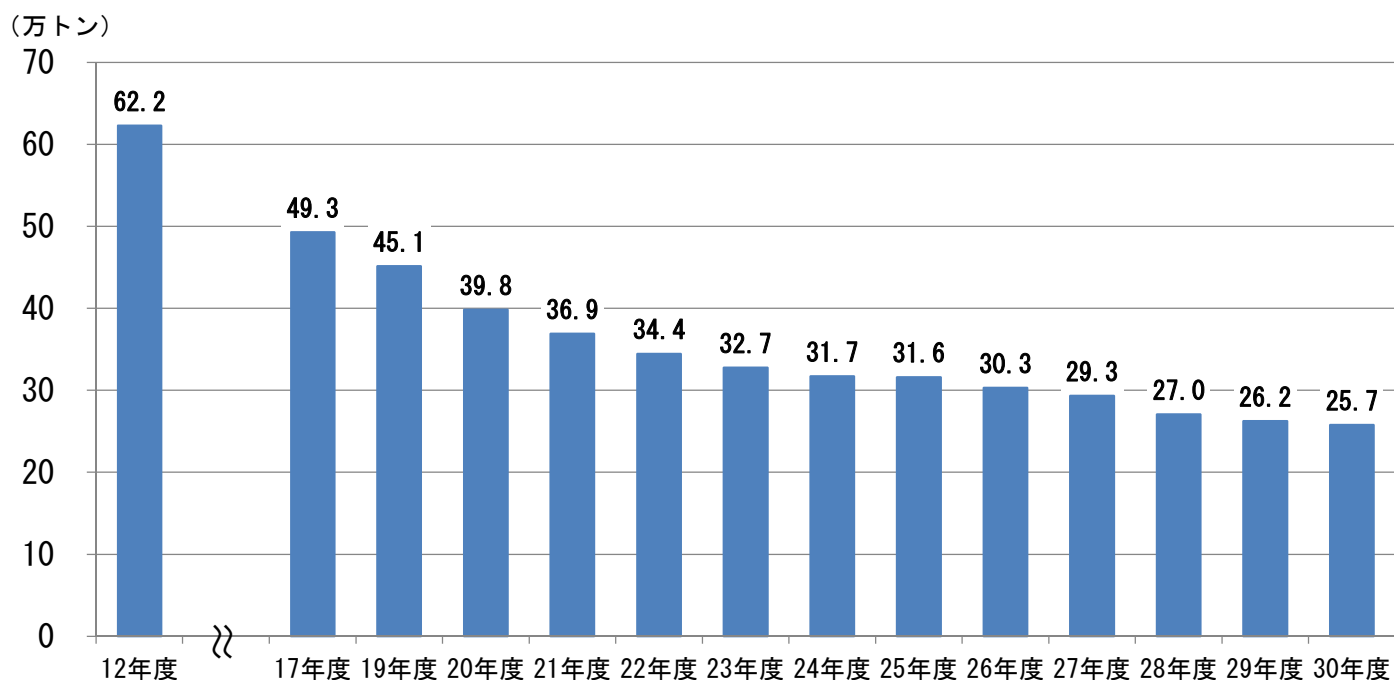


図1 自主的取組における全国のVOC排出量の推移

3. 業種別のVOC排出量

業種別に状況報告を集計した結果、以下のとおりとなった。

業種によって削減幅に差があるものの、全ての業種とも平成12年度に比べ、VOC排出量が大幅に削減された。

表2 業種別のVOC排出量の推移

(単位:万トン)

	平成 12年度	平成 17年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
印刷・同関連業	11.6 (－)	7.7 (▲34%)	4.3 (▲63%)	3.6 (▲69%)	3.5 (▲70%)	3.5 (▲69%)	2.8 (▲76%)	2.5 (▲79%)	2.7 (▲77%)	2.3 (▲80%)	2.4 (▲80%)
輸送用機械器具製造業	9.6 (－)	7.8 (▲18%)	4.6 (▲52%)	4.5 (▲53%)	4.4 (▲54%)	4.4 (▲54%)	4.2 (▲57%)	4.0 (▲58%)	4.0 (▲58%)	3.9 (▲59%)	4.0 (▲59%)
化学工業	9.4 (－)	5.5 (▲42%)	3.6 (▲62%)	3.3 (▲65%)	3.4 (▲64%)	3.4 (▲64%)	3.3 (▲65%)	3.1 (▲67%)	2.8 (▲70%)	2.9 (▲69%)	2.9 (▲69%)
石油製品・石炭製品製造業	6.1 (－)	5.5 (▲11%)	4.3 (▲31%)	4.2 (▲32%)	3.9 (▲36%)	3.9 (▲36%)	3.7 (▲39%)	3.7 (▲39%)	3.7 (▲40%)	3.5 (▲43%)	3.3 (▲46%)
プラスチック製品製造業(別掲を除く)	3.3 (－)	3.3 (▲3%)	1.2 (▲65%)	1.1 (▲67%)	0.9 (▲72%)	0.9 (▲73%)	0.9 (▲73%)	0.9 (▲74%)	0.8 (▲75%)	0.9 (▲74%)	0.7 (▲78%)
電気機械器具製造業	2.5 (－)	1.8 (▲28%)	1.1 (▲56%)	1.0 (▲58%)	0.9 (▲66%)	0.8 (▲68%)	0.8 (▲68%)	0.8 (▲69%)	0.8 (▲69%)	0.8 (▲66%)	0.8 (▲66%)
ゴム製品製造業	2.2 (－)	1.9 (▲14%)	1.2 (▲48%)	1.0 (▲54%)	0.9 (▲60%)	0.8 (▲63%)	0.8 (▲64%)	0.7 (▲67%)	0.7 (▲68%)	0.7 (▲69%)	0.7 (▲69%)
金属製品製造業	1.7 (－)	1.4 (▲17%)	0.8 (▲54%)	0.8 (▲49%)	0.7 (▲57%)	0.7 (▲58%)	0.7 (▲58%)	0.6 (▲63%)	0.6 (▲64%)	0.6 (▲62%)	0.6 (▲65%)
パルプ・紙・紙加工品製造業	1.0 (－)	0.4 (▲60%)	0.1 (▲86%)	0.1 (▲86%)	0.1 (▲87%)	0.1 (▲87%)	0.1 (▲87%)	0.1 (▲87%)	0.1 (▲87%)	0.1 (▲87%)	0.1 (▲88%)
繊維工業	0.9 (－)	0.7 (▲17%)	0.3 (▲64%)	0.3 (▲68%)	0.2 (▲76%)	0.2 (▲79%)	0.2 (▲82%)	0.2 (▲81%)	0.1 (▲84%)	0.2 (▲81%)	0.2 (▲82%)
合計	48.2 (－)	35.9 (▲26%)	21.3 (▲56%)	19.9 (▲59%)	18.9 (▲61%)	18.8 (▲61%)	17.5 (▲64%)	16.6 (▲66%)	16.4 (▲66%)	15.9 (▲67%)	15.6 (▲68%)

注1) 平成12年度の排出量の多かった上位10業種(自主的取組全体の排出量の約96%)を掲載

注2) ()内は、平成12年度排出量に対する増減率

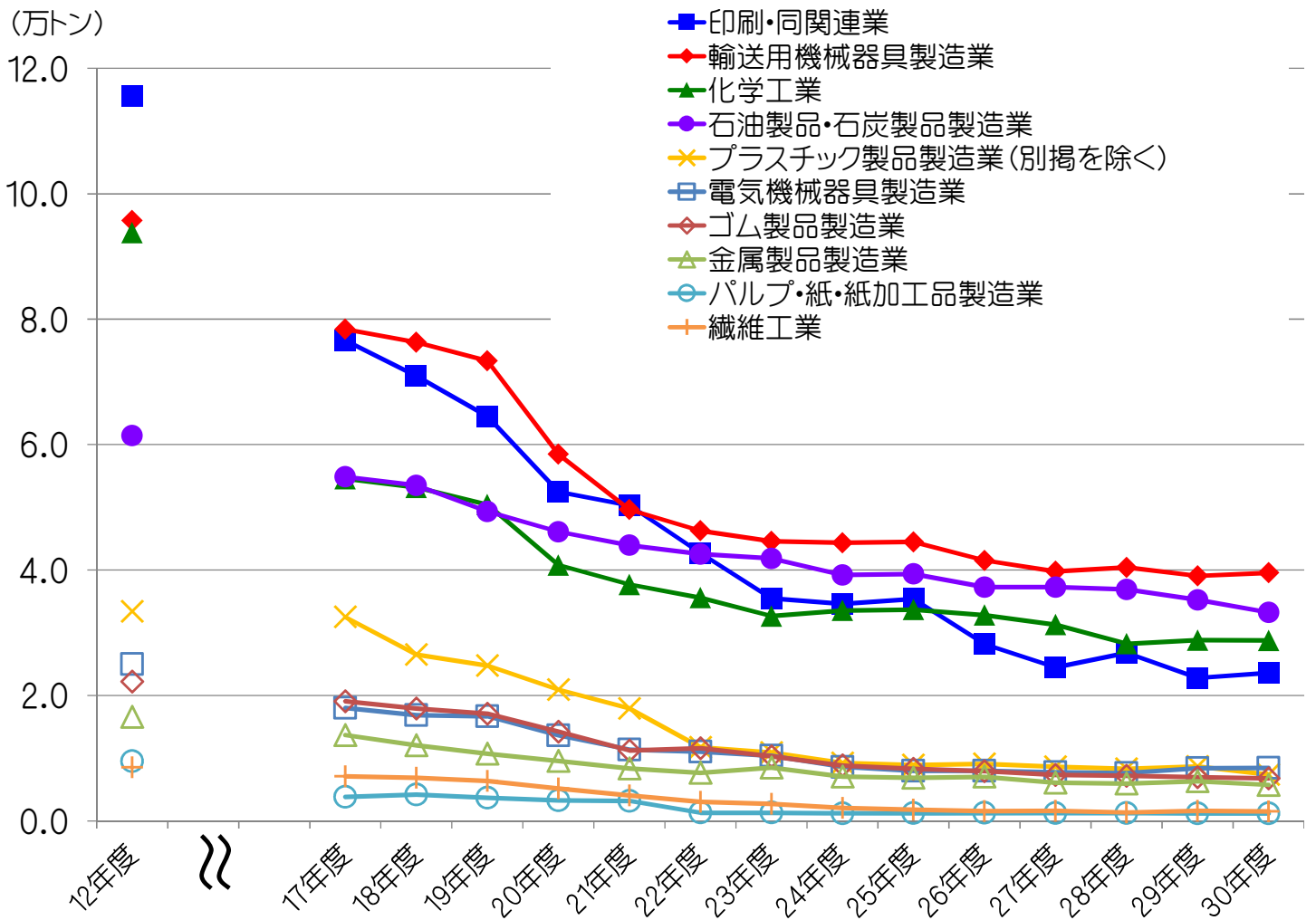


図2 業種別のVOC排出量の推移

4. 地域別のVOC排出量

地域別の排出量について記載があった状況報告を集計した結果、以下のとおりとなった。
各地域とも、全国のVOC排出量と同様の低減傾向を示している。

表3 地域別のVOC排出量の推移

(単位: 万トン)

	平成 12年度	平成 17年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
関東	8.3 (-)	7.4 (▲11%)	5.6 (▲33%)	5.2 (▲38%)	5.2 (▲38%)	5.1 (▲38%)	5.1 (▲39%)	5.0 (▲40%)	3.5 (▲58%)	3.4 (▲59%)	3.2 (▲61%)
中部	4.3 (-)	5.4 (+26%)	4.1 (▲4%)	4.1 (▲5%)	4.1 (▲5%)	4.1 (▲4%)	4.0 (▲7%)	3.9 (▲9%)	2.2 (▲50%)	2.0 (▲54%)	2.0 (▲54%)
関西	2.8 (-)	2.8 (▲1%)	2.3 (▲19%)	2.3 (▲20%)	2.3 (▲18%)	2.3 (▲18%)	2.3 (▲19%)	2.2 (▲21%)	1.5 (▲47%)	1.5 (▲48%)	1.4 (▲49%)
合計	15.4 (-)	15.5 (+1%)	11.9 (▲22%)	11.5 (▲26%)	11.5 (▲25%)	11.6 (▲25%)	11.3 (▲26%)	11.1 (▲28%)	7.2 (▲53%)	6.8 (▲56%)	6.7 (▲57%)

注1) 地域は自動車NOx・PM法における対策地域に相当する地域として関東(東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県)、中部(愛知県、三重県)、関西(大阪府、兵庫県)を掲載

注2) 地域別のVOC排出量について記載があった状況報告から集計したもの

注3) VOC排出量には、全国石油商業組合連合会の排出実績を含む。ただし、平成17年度から平成27年度まではデータがないことから、平成12年度から変化していないと仮定。

注4) ()内は、平成12年度排出量に対する増減率

注5) 四捨五入の関係で、合計値が合わない場合がある

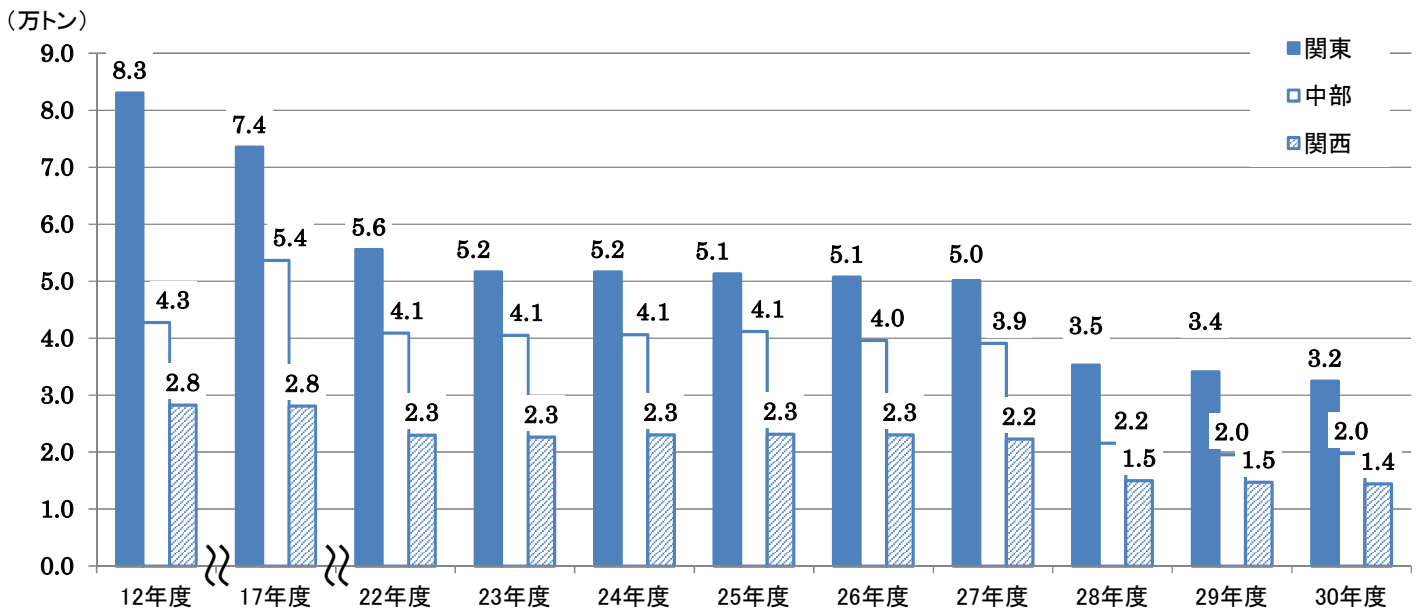


図3 地域別のVOC排出量の推移

5. 物質別のVOC排出量

物質別の排出量について記載があった状況報告を集計した結果、以下のとおりとなった。

ほぼ全ての物質について、全国の排出量と同様の低減傾向を示している。

表4 物質別のVOC排出量の推移

(単位:万トン)

	平成 12年度	平成 17年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
トルエン	8.7 (－)	5.5 (▲37%)	2.5 (▲71%)	2.2 (▲75%)	1.9 (▲79%)	1.8 (▲79%)	1.7 (▲80%)	1.6 (▲82%)	1.6 (▲82%)	1.5 (▲83%)	1.3 (▲85%)
炭化水素類	7.2 (－)	6.3 (▲13%)	5.0 (▲30%)	4.8 (▲34%)	4.8 (▲34%)	4.7 (▲35%)	4.6 (▲37%)	4.5 (▲38%)	4.5 (▲38%)	4.3 (▲40%)	4.2 (▲42%)
炭化水素類(※)	19.3 (－)	—	—	—	—	—	—	—	14.5 (▲25%)	13.9 (▲28%)	13.6 (▲29%)
酢酸エチル	3.1 (－)	3.0 (▲3%)	1.3 (▲57%)	1.2 (▲62%)	1.1 (▲64%)	1.2 (▲61%)	1.0 (▲67%)	0.9 (▲70%)	1.0 (▲68%)	0.9 (▲70%)	0.9 (▲72%)
メチルエチル ケトン	2.5 (－)	1.9 (▲22%)	1.0 (▲58%)	0.8 (▲68%)	0.5 (▲79%)	0.6 (▲78%)	0.5 (▲80%)	0.5 (▲81%)	0.5 (▲81%)	0.4 (▲82%)	0.4 (▲82%)
キシレン	2.2 (－)	1.4 (▲40%)	0.7 (▲70%)	0.6 (▲72%)	0.6 (▲71%)	0.6 (▲71%)	0.7 (▲71%)	0.6 (▲75%)	0.6 (▲74%)	0.6 (▲75%)	0.5 (▲76%)
イソプロピル アルコール	2.0 (－)	1.7 (▲16%)	0.9 (▲53%)	0.7 (▲64%)	0.7 (▲62%)	0.7 (▲63%)	0.6 (▲70%)	0.5 (▲75%)	0.6 (▲72%)	0.5 (▲75%)	0.5 (▲74%)
メチル アルコール	1.3 (－)	0.8 (▲36%)	0.6 (▲58%)	0.7 (▲51%)	0.6 (▲57%)	0.6 (▲57%)	0.5 (▲59%)	0.5 (▲63%)	0.4 (▲71%)	0.4 (▲67%)	0.4 (▲71%)
ジクロロメタン	1.2 (－)	0.7 (▲44%)	0.2 (▲81%)	0.3 (▲79%)	0.2 (▲80%)	0.2 (▲82%)	0.2 (▲81%)	0.2 (▲83%)	0.2 (▲84%)	0.2 (▲81%)	0.2 (▲82%)
アセトン	0.9 (－)	0.6 (▲39%)	0.4 (▲56%)	0.4 (▲58%)	0.4 (▲61%)	0.3 (▲61%)	0.3 (▲62%)	0.3 (▲65%)	0.3 (▲66%)	0.3 (▲71%)	0.2 (▲73%)
ノルマルー ヘキサン	0.8 (－)	0.7 (▲16%)	0.4 (▲58%)	0.3 (▲64%)	0.3 (▲67%)	0.3 (▲64%)	0.3 (▲66%)	0.2 (▲70%)	0.2 (▲74%)	0.3 (▲68%)	0.3 (▲63%)
合計	30.0 (－)	22.5 (▲25%)	13.1 (▲56%)	11.8 (▲61%)	11.1 (▲63%)	11.1 (▲63%)	10.4 (▲65%)	9.8 (▲67%)	9.7 (▲68%)	9.5 (▲69%)	9.0 (▲70%)

注1) 平成12年度の排出量の多かった上位10物質(自主的取組全体の排出量の約60%)を掲載

注2) 物質別のVOC排出量について記載があった状況報告から集計したもの

注3) ()内は、平成12年度排出量に対する増減率

注4) 炭化水素類(※)は、全国石油商業組合連合会の排出実績を含む。この値は、合計には加算していない。

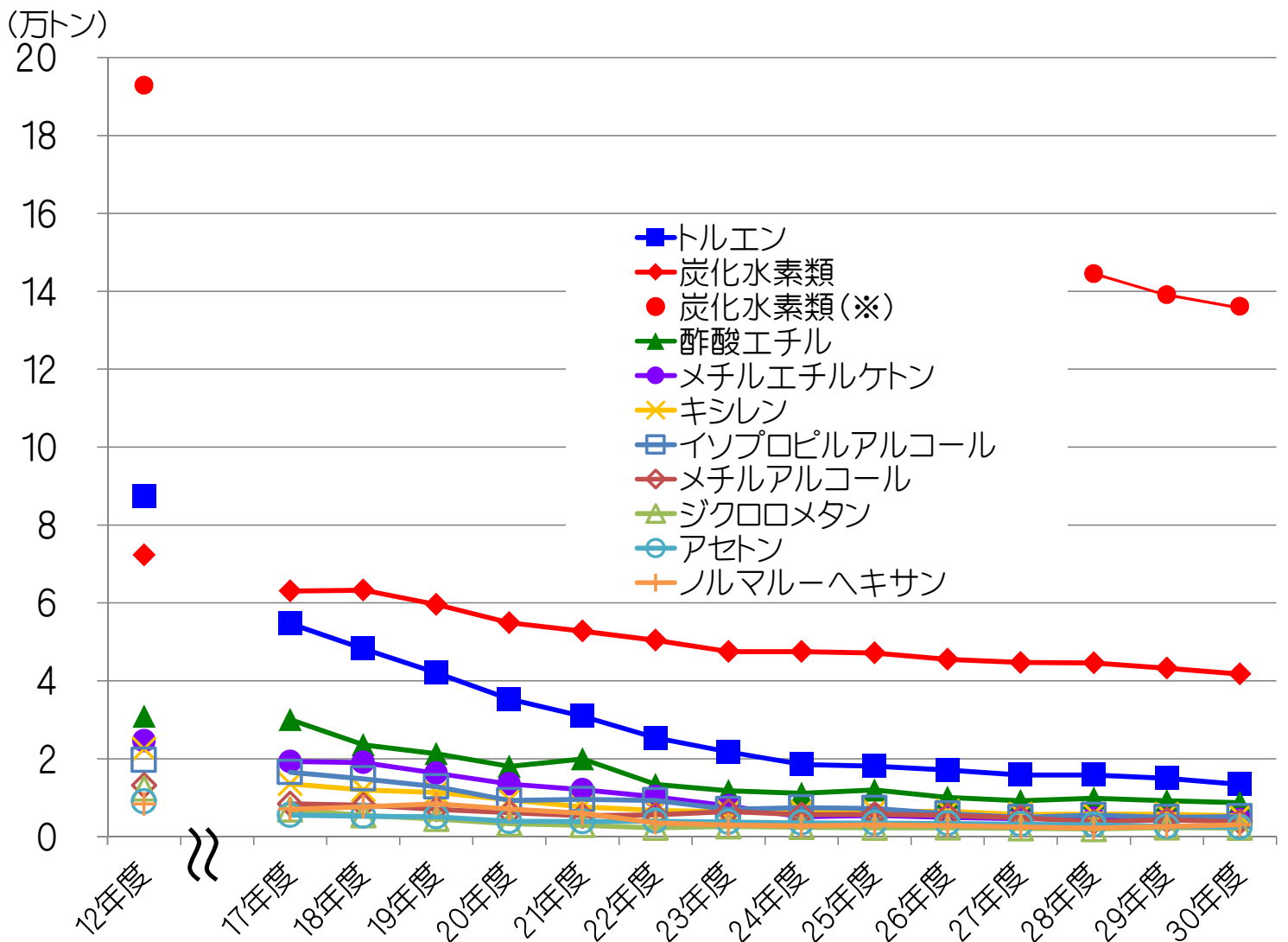


図4 物質別のVOC排出量の推移

(※) 全国石油商業組合連合会の排出実績を含む。

団体名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
27 電気機械器具製造業	24,984	4%	18,018	4%	16,843	4%	16,692	4%	13,632	3%	11,345	3%	11,024	3%	10,373	3%	8,610	3%	7,977	3%	7,988	3%	7,760	3%	7,635	3%	8,396	3%	8,473	3%
5 電機・電子4団体	24,984	4%	18,018	4%	16,843	4%	16,692	4%	13,632	3%	11,345	3%	11,024	3%	10,373	3%	8,610	3%	7,977	3%	7,988	3%	7,760	3%	7,635	3%	8,396	3%	8,473	3%
(参考)平成30年度環境省調査(補足率)	13,747	(182%)	11,768	(153%)	11,249	(150%)	11,342	(147%)	9,987	(137%)	9,341	(121%)	11,558	(95%)	9,358	(111%)	9,019	(95%)	8,709	(92%)	7,788	(103%)	7,897	(68%)	7,892	(97%)	7,792	(108%)		
30 輸送用機械器具製造業	95,710	15%	78,380	16%	76,310	16%	73,359	16%	58,466	15%	49,641	13%	46,264	13%	44,583	14%	44,351	14%	44,490	14%	41,521	14%	39,790	14%	40,407	15%	39,063	15%	39,556	15%
7 日本自動車部品工業会	22,725	4%	18,121	4%	17,274	4%	16,061	4%	12,222	3%	11,702	3%	9,493	3%	8,533	3%	8,387	3%	7,942	3%	7,412	3%	6,905	3%	7,054	3%	4,733	2%	5,412	2%
8 日本自動車工業会	52,685	8%	41,199	8%	40,976	9%	39,295	9%	32,218	8%	26,273	7%	25,623	7%	24,921	8%	24,224	8%	25,106	8%	23,848	8%	22,169	8%	23,367	9%	24,835	9%	24,254	9%
25 日本自動車車体工業会	20,300	3%	19,060	4%	18,060	4%	18,003	4%	14,026	4%	11,666	3%	11,148	3%	11,129	3%	11,740	4%	11,442	4%	10,261	3%	10,716	4%	9,986	4%	9,495	4%	9,890	4%
(参考)平成30年度環境省調査(補足率)	183,856	(52%)	143,735	(53%)	132,706	(57%)	130,735	(56%)	116,097	(50%)	97,695	(51%)	102,696	(45%)	98,936	(45%)	91,697	(48%)	87,684	(51%)	92,052	(45%)	85,610	(46%)	91,552	(44%)	90,032	(43%)		
32 その他の製造業	350	0%	320	0%	319	0%	320	0%	180	0%	154	0%	125	0%	118	0%	113	0%	114	0%	113	0%	133	0%	123	0%	119	0%	114	0%
34 全関東業協会	240	0%	240	0%	240	0%	240	0%	102	0%	76	0%	56	0%	55	0%	47	0%	44	0%	43	0%	63	0%	53	0%	53	0%	50	0%
35 日本釣用品工業会	110	0%	80	0%	79	0%	80	0%	78	0%	78	0%	69	0%	63	0%	66	0%	70	0%	70	0%	70	0%	70	0%	66	0%	64	0%
34 ガス業	87	0%	27	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
日本ガス協会	87	0%	27	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
(参考)平成30年度環境省調査(補足率)	130	(67%)	70	(39%)	67	(0%)	9	(0%)																						
60 その他の小売業	120,563	19%	120,563	24%	120,563	26%	120,563	27%	120,563	30%	120,563	33%	120,563	35%	120,563	37%	120,563	38%	120,563	38%	120,563	40%	120,563	41%	99,959	37%	95,848	37%	94,333	37%
40 全関東石油商業組合連合会	120,563	19%	120,563	24%	120,563	26%	120,563	27%	120,563	30%	120,563	33%	120,563	35%	120,563	37%	120,563	38%	120,563	38%	120,563	40%	120,563	41%	99,959	37%	95,848	37%	94,333	37%
(参考)平成30年度環境省調査(補足率)	120,563	(100%)	114,154	(106%)	114,423	(105%)	110,710	(109%)	108,142	(107%)	107,916	(112%)	108,927	(111%)	106,247	(113%)	105,086	(115%)	103,977	(116%)	100,297	(120%)	101,295	(119%)	100,204	(100%)	98,626	(97%)		
86 自動車整備業	536	0%	536	0%	356	0%	336	0%	290	0%	312	0%	333	0%	312	0%	311	0%	299	0%	321	0%	342	0%	312	0%	332	0%	260	0%
32 日本自動車車体整備協同組合連合会	536	0%	536	0%	356	0%	336	0%	290	0%	312	0%	333	0%	312	0%	311	0%	299	0%	321	0%	342	0%	312	0%	332	0%	260	0%
(参考)平成30年度環境省調査(補足率)	34,077	(2%)	27,832	(2%)	25,072	(1%)	25,647	(1%)	22,038	(1%)	20,442	(2%)	20,251	(2%)	20,124	(2%)	19,702	(2%)	19,356	(2%)	20,237	(2%)	19,849	(2%)	20,476	(2%)	17,289	(2%)		
99 分類不能の産業	2,600	0%	2,600	1%	2,586	1%	2,563	1%	2,109	1%	1,385	0%	1,666	0%	1,784	1%	1,576	0%	1,578	0%	1,417	0%	1,299	0%	1,050	0%	765	0%	734	0%
41 産業環境管理協会	2,600	0%	2,600	1%	2,586	1%	2,563	1%	2,109	1%	1,385	0%	1,666	0%	1,784	1%	1,576	0%	1,578	0%	1,417	0%	1,299	0%	1,050	0%	765	0%	734	0%
合計	622,456	100%	492,731	100%	471,980	100%	451,216	100%	398,061	100%	368,768	100%	344,371	100%	327,483	100%	316,699	100%	315,896	100%	302,786	100%	292,874	100%	270,421	100%	262,122	100%	257,388	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 複数の業種にまたがる場合、代表的な業種で集計しているため、補足率が100%を超える場合がある。(例: 電気・電子4団体は、電気機械器具製造業、一般機械器具製造業(うち事務用・サービス用・民生用機械器具製造業)にまたがるが、電気機械器具製造業として集計)

注3) 排出量自体を把握していない年度がある場合は、直近の把握している年度の排出量を用いて集計(※印)

注4) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

注5) 平成30年度環境省調査(※)は、「揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリについて」(平成30年3月、環境省)の業種別VOC排出量の推計結果のこと。

VOC排出抑制に係る自主的取組のフォローアップについて
平成30年度実績（個票）

1 日本ガス協会	18
2 日本染色協会	20
3 日本製紙連合会	22
4 日本鉄鋼連盟	24
5 電機・電子4団体	26
6 日本塗料工業会	28
7 日本自動車部品工業会	30
8 日本自動車工業会	32
9 線材製品協会	34
10 日本伸銅協会	36
11 全国鍍金工業組合連合会	38
12 日本電線工業会	40
13 日本アルミニウム協会	42
14 日本建材・住宅設備産業協会	44
15 天然ガス鉱業会	46
16 石油連盟	48
17 日本化学工業協会	51
18 日本印刷産業連合会	53
19 ドラム缶工業会	55
20 軽金属製品協会	57
21 日本プラスチック工業連盟	59
22 日本オフィス家具協会	61
23 日本表面処理機材工業会	63
24 日本自動車車体工業会	65
25 日本接着剤工業会	67
26 プレハブ建築協会	69
27 印刷インキ工業連合会	71
28 日本工業塗装協同組合連合会	73
29 日本ゴム工業会	75
30 日本自動車車体整備協同組合連合会	77
31 日本粘着テープ工業会	79
32 全国楽器協会	81
33 日本釣用品工業会	83
34 日本金属ハウスウェア工業組合	85
35 日本金属洋食器工業組合	87
36 日本ガス石油機器工業会	89
37 全国石油商業組合連合会	91
その他（産業環境管理協会）	93

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **日本ガス協会**
- 捕捉範囲
 - 業種 (代表的な業種) 34 ガス業
ガス業
 - 加盟率 100% (ガス業のうち旧一般ガス事業者の加盟率100%)
 - 捕捉率 100% (ガス業のうち旧一般ガス事業者の捕捉率100%)
- 主な排出源
 - 貯蔵 ・ナフサタンク
- 除外・すそ切りの考え方
 - 対象企業 9社
 - 対象物質 ナフサ

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	87	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(増減率 ^{※2})	-	(▲69%)	(▲100%)	(▲100%)	(▲100%)	(▲100%)	(▲100%)	(▲100%)	(▲100%)	(▲100%)	(▲100%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	(0%)	(0%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(その他の対策)

17年度に都市ガス天然ガス化計画により、ナフサタンクを全廃

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

平成17年度にナフサ使用設備の高カロリーガス化転換を完了し、平成18年度以降排出はありません。引き続き、現状を維持してまいります。

(自己評価)

全廃後、ゼロ報告を継続している。

○ その他

特になし。

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

日本染色協会

○ 捕捉範囲

■ 業種

(代表的な業種) 11 繊維工業
織物等機械染色整理業(ただし、毛織物機械染色整理業を除く)

■ 加盟率

81.2% (生産量ベース、繊維統計、ただし毛整理業を除く)

■ 捕捉率

44.7% (同上)

○ 主な排出源

■ 接着

・コンパージング加工(ラミネート、コーティング、ボンディング)の乾燥工程

・仕上加工の乾燥・ベーキング(形態安定加工)工程

■ 印刷

・捺染(プリント)の乾燥工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

事業所・物質当たり年間1トン以上使用実績のある事業所を対象

■ 対象物質

年間1トン以上使用実績のある物質を対象

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	5,457	5,314	4,893	5,266	5,284
排出量	8,558	7,118	3,043	2,727	2,072	1,802	1,581	1,597	1,355	1,612	1,506
(増減率 ^{※2})	-	(▲17%)	(▲64%)	(▲68%)	(▲76%)	(▲79%)	(▲82%)	(▲81%)	(▲84%)	(▲81%)	(▲82%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	401	558	576	469	502	463
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	-	-	31	32	29	27	23	23	27
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

(当該年度の排出量-12年度の排出量)

※2 増減率(%) = $\frac{\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量}}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

会員企業に対して、アンケート調査を実施して集計した。

■ 排出量の推計方法

①PRTR対象物質については、PRTR法と同様の排出率を採用する。②PRTR対象外物質であって、類似のPRTR対象物質がある場合はその物質を参考に排出量を推計する。③PRTR対象外物質であって、他に参考となるデータがない場合は実際に測定を行う。

■ 参加企業数の増減理由

昨年度、未回答であった会員企業4社から回答があった。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(その他の対策)

- ・水溶性物質への転換
- ・ターペン使用量の削減
- ・回収装置の導入及び活用

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。

(自己評価)

平成30年度のVOC排出量は1,506トンであった。排出量削減率では、平成12年度比-82.4%、平成22年度比-50.5%であった。前年に比べ、平成30年度VOC排出量が減少した第一の要因は、自主行動計画の対象(法規制の対象外)の設備を持った工場の排出量が減ったことによる。法規制の対象外であっても、環境対策として回収設備の導入或いは活用が進められた効果が出ている。主要排出物質については、使用量の更なる削減も必要で、排出量の削減と共に検討課題が残っている。平成22年度比では改善が見られたが、更なる改善が期待できることから、自己評価は「B」ランクとした。

○ その他

平成30年度のVOC排出量の「その他 351 トン」中には、「1,2,4-トリメチルベンゼン 75トン」を含む。

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **日本製紙連合会**
- 捕捉範囲
 - 業種 (代表的な業種) 14 パルプ・紙・紙加工品製造業
パルプ・紙・紙加工品製造業
 - 加盟率 89.5% (紙・板紙生産量ベース、経済産業省統計)
 - 捕捉率 99.9% (同上)
- 主な排出源
 - 印刷 ・印刷後の乾燥工程
・マスター紙の乾燥工程
 - 接着 ・剥離紙、粘着製品等の製造工程
- 除外・すそ切りの考え方
 - 対象企業 会員企業中、アンケート回答のあった企業を対象
 - 対象物質 全VOCを対象

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	17,516	20,564	16,528	15,473	14,124	13,995	14,214	13,262	12,690	13,206	13,731
排出量	9,534	3,815	1,313	1,315	1,207	1,225	1,270	1,244	1,261	1,215	1,178
(増減率 ^{※2})	-	(▲60%)	(▲86%)	(▲86%)	(▲87%)	(▲87%)	(▲87%)	(▲87%)	(▲87%)	(▲87%)	(▲88%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	24	22	20	50	50	49	49	46	46	47	45
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	2,054	431	287	261	231	239	258	253	284	307	331
(対全国比)	(22%)	(11%)	(22%)	(20%)	(19%)	(20%)	(20%)	(20%)	(23%)	(25%)	(28%)
関東地域 ^{※3}	2,054	431	287	261	231	239	258	253	284	307	331
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

・基本的には、購入量より在庫量を差引いた量を使用量としている。なお、薬品類等は、含有濃度を乗じて算出している。

■ 排出量の推計方法

- ・[処理装置等が無い場合] 基本的には、使用量＝排出量としているが、一部定期的の実測している事業所もある。
- ・[処理装置等有る場合] 処理装置のVOC除去量を定期的の実測し、それに基づき算出している。

■ 参加企業数の増減理由

平成22年度までは、VOCの排出実績があった企業だけをカウントしていたが、平成23年度以降は、VOCの排出実績がない企業も含めた企業数を記載。そのため参加企業数は増加した。

その他の増減理由は、企業合併、事業撤退、及び途中から他団体に報告する社があったため。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(その他の対策)

平成22年度を目標とした以前の自主行動計画の運用時は、VOC排出抑制設備の設置を中心に排出量の削減を図った。設備投資が一巡したことから、今後はVOC成分の少ない薬品への代替や製造工程の管理強化等により、平成22年度比で悪化しないように努める。

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

- ①自主行動計画では排出量の多かった5物質のみを管理していたが、現在は排出している全ての物質(現在67物質)を管理しており、これを継続する。
- ②今後とも平成22年度比で悪化しないように努める。

(自己評価)

以前の自主行動計画では、年間排出量が多かった5物質(トルエン、メチルエチルケトン、酢酸エチル、イソプロピルアルコール及びメタノール)を排出管理の対象としていたが、現在は排出している全ての物質(現在67物質)を管理している。全国ベースで大気汚染防止法上のVOC 排出抑制の目標とされていた「平成12年度比3割程度削減」を十分に達成している。また、経済産業省が定めた自主的取組促進のための指針に掲げられた「平成22年度比で悪化しないように取り組む」も達成している。

○ その他

以前の自主行動計画では、使用量及び排出量を「法規制対象分」「裾切り対象分」「規制対象外分」に分類して集計、公表していた。

自主行動計画の終了時点で調査対象会社の負担軽減を考慮して、環境行動計画では分類しないで集計している。

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

日本鉄鋼連盟

○ 捕捉範囲

■ 業種

(代表的な業種) 22 鉄鋼業
鉄鋼業、金属製品製造業等

■ 加盟率

■ 捕捉率

96% (粗鋼生産量ベース)

○ 主な排出源

■ 塗装

・鋼材塗装工程

■ 洗浄

・ステンレス鋼材表面洗浄工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

・会員であって製造業を営む企業(団体会員である普通鋼電炉工業会の会員を含む)を対象
・ただし、常時使用する従業員20人以下の企業は集計対象から除外

■ 対象物質

PRTR対象52物質とPRTR対象外15物質が対象。ただし、以下の場合は集計対象から除外。
①業として取り扱っている製品(製造プロセス中で精製される副生成物を含む)中の含有率1%未満(PRTR特定第1種物質は0.1%未満)の物質
②年間使用量が1トン未満(PRTR特定第1種物質は0.5トン未満)の物質

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	271,333	242,018	513,420	488,312	484,372	479,880	486,847	553,512	564,184	539,523	541,869
排出量	6,992	4,518	3,043	2,777	2,365	2,252	2,392	2,176	2,112	2,121	2,177
(増減率 ^{※2})	-	(▲35%)	(▲56%)	(▲60%)	(▲66%)	(▲68%)	(▲66%)	(▲69%)	(▲70%)	(▲70%)	(▲69%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	461	583	482	449	393	402
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	90	90	88	88	83	80	79	78	76	76	76
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	3,190	2,589	1,742	1,508	1,244	1,181	1,214	1,071	1,061	1,095	1,070
(対全国比)	(46%)	(57%)	(57%)	(54%)	(53%)	(52%)	(51%)	(49%)	(50%)	(52%)	(49%)
関東地域 ^{※3}	1,468	1,305	672	576	528	421	374	335	302	282	287
関西地域 ^{※4}	1,090	793	786	697	511	575	639	606	636	668	584
中部地域 ^{※5}	632	491	284	235	205	185	201	130	123	145	200

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

取扱量は、対象VOC物質を、①製品又は中間製品として製造した量、②原料、溶剤、冷媒、熱媒、混合や消費などの目的で使用した量、③非意図的に生成して排出した量を合計したものとす。詳細については「鉄鋼業におけるPRTR排出量等算出マニュアル」の「5.定義」「(1)取扱量」参照。

■ 排出量の推計方法

「鉄鋼業におけるPRTR排出量等算出マニュアル」(日本鉄鋼連盟)の「6.対象物質毎の算出の考え方」、「7.算出手順」参照。

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(作業方法の改善等)
・適切な運転管理の実施。

(原材料の転換・削減)
・VOC含有溶剤の代替を推進。

(取引先企業、消費者等への周知)
・CSR報告書や自治体HPを通じた公表、周辺住民との対話により、VOC対策に関する情報を提供。

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

当連盟では、平成17年にVOC排出抑制に関する自主行動計画を策定し、会員会社における自主的取組を促進した。その結果、同取組の目標(※)を大きく上回る排出削減(約56%減)を達成した。

これを踏まえ、平成23年度以降は会員各社のVOC排出状況のフォローアップを行っており、当該フォローアップの継続等を通じ、当業界の平成22年度の排出状況を悪化させないように引き続き努めることとする。

なお、本方向性等については、3年後を目途に必要な応じ見直しを行う。

※当連盟自主行動計画の目標:

VOC排出量を平成22年度までに平成12年度比で30%削減。

(自己評価)

・上記方向性に基づく取組の結果、平成30年度のVOC排出量(当連盟計)は2,176tであり、22年度の水準(当連盟の自主的取組における指標となる年度)を引き続き下回っている。

・上記の通り、鉄鋼業全体としてのVOC排出抑制の取組は適切に行われており、当連盟としては引き続き、同取組の適切な実施に努めていく方針。

○ その他

- ・対象物質全体での排出削減を目指しているため、物質別の排出量は記載していない。
- ・法規制対象施設からの排出量については、平成25年度実績より集計を開始した。

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **電機・電子4団体**
- 捕捉範囲
 - 業種 (代表的な業種) 29 電気機械器具製造業
電気機械器具製造業、一般機械器具製造業(うち事務用・サービス用・民生用機械器具製造業)
 - 加盟率 不明
 - 捕捉率 94.3% (業界団体内捕捉率、事業所数ベース)
- 主な排出源
 - 塗装
 - 洗浄
- 除外・すそ切りの考え方
 - 対象企業 事業所・物質当たり年間1トン以上を取り扱っている企業
 - 対象物質 排出量合計の95%を占める20物質を対象(イソプロピルアルコール、トルエン、アセトン、酢酸ブチル、メタノール、キシレン、メチルエチルケトン、ジクロロメタン、スチレン、エタノール、その他)

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	101,933	118,250	116,562	110,498	100,456	94,692	92,923	93,490	97,763	102,152	104,963
排出量	24,984	18,018	11,024	10,373	8,610	7,977	7,988	7,760	7,635	8,396	8,473
(増減率 ^{※2})	-	(▲28%)	(▲56%)	(▲58%)	(▲66%)	(▲68%)	(▲68%)	(▲69%)	(▲69%)	(▲66%)	(▲66%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	173	140	129	120	115	114	105	110	106	105
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

PRTR法の計算方法に準拠した。

■ 排出量の推計方法

PRTR法の計算方法に準拠した。

■ 参加企業数の増減理由

不明

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(その他の対策)

化学物質排出抑制対策を継続し、VOCの使用実態に即した技術的かつ経済的に適切な排出抑制を実施した。

具体的には製造工程における管理強化、設備・プロセスの改善、代替物質等への切り替え、新たな回収・除害処理設備の設置等。

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

電機・電子4団体として平成30年度に少なくとも平成22年度比で悪化しないよう努める。

(自己評価)

・平成30年度の大気への排出量は対前年比横ばいである。

・排出量の増減率(平成12年度比)は、平成22年度削減率(56%)に対し、平成30年度は削減率(66%)で、昨年度の削減率(66%)と同等レベルである。

・また、VOC自主的取り組みの目標である「平成30年度に、平成22年度実績(11,024t)より、悪化しないよう努める」に対しては、平成30年度排出量実績は8,473tであり、継続して達成した。

○ その他

・平成28年7月に策定した「取組の目指すべき方向性」である「電機・電子4団体として平成30年度に少なくとも平成22年度比で悪化しないよう努める。」を基本に、VOCの排出抑制に繋がる生産プロセスの見直しや作業の合理化に継続して取り組んでいる。

・今年度の調査過程で、平成30年度(平成29年度実績)報告内容中、使用量に一部集計漏れが判明したため、今年度の報告書に反映して報告する。(平成29年度の使用量を102,150トンから102,152トンに修正した。)

・「VOC排出量のうち法規制対象施設」分については、報告は出来ない。

会員企業に調査を実施し、報告の可否について確認したところ、一部対応可能な企業もあるが、以下の理由により、多くの企業から対応不可の回答を得ている。

①現行のVOC排出量管理方法では、法規制対象施設とその他施設を区別して管理していない。

②VOCを使用している装置の排気は最終的に集合され、測定はその集合部分で行われているので、装置ごとの切り分けが不可能。

また、そもそも法規制対象施設がない企業も多い状況である。

従って、電機・電子4団体としては、法規制対象施設からの排出量を正確に報告することはできない。

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

日本塗料工業会

○ 捕捉範囲

■ 業種

(代表的な業種) 16 化学工業
塗料製造業

■ 加盟率

約91% (生産量ベース、実態調査)

■ 捕捉率

約99% (生産量ベース、自主的集計)

○ 主な排出源

■ 塗料製造

・仕込み工程、混合工程、反応工程、ろ過工程、缶詰工程、洗浄工程 等

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

会員企業中、塗料・シンナー製造企業を対象

■ 対象物質

トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ブチルアルコール、イソプロピルアルコール、酢酸エチル、メチルエチルケトン、メチルイソブチルケトン、その他

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	922,720	801,200	690,486	701,574	720,680	691,172	693,945	660,868	651,789	670,105	667,410
排出量	3,947	3,061	2,318	2,255	2,161	2,095	2,061	2,133	2,113	2,129	2,236
(増減率 ^{※2})	-	(▲22%)	(▲41%)	(▲43%)	(▲45%)	(▲47%)	(▲48%)	(▲46%)	(▲46%)	(▲46%)	(▲43%)
うち法規制対象施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
参加企業数	-	77	76	76	76	74	78	81	75	79	78
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	1,519	1,866	1,415	1,376	1,319	1,277	1,257	1,301	1,290	1,298	1,363
(対全国比)	(38%)	(61%)	(61%)	(61%)	(61%)	(61%)	(61%)	(61%)	(61%)	(61%)	(61%)
関東地域 ^{※3}	38	719	545	530	508	492	484	501	497	500	525
関西地域 ^{※4}	928	719	545	530	508	492	484	501	497	500	525
中部地域 ^{※5}	553	428	325	316	303	293	289	299	296	298	313

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

(当該年度の排出量-12年度の排出量)

※2 増減率(%) = $\frac{\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量}}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

PRTR対象(トルエン、キシレン、エチルベンゼン)と塗料用溶剤5品目(ブタノール、イソプロピルアルコール、酢酸エチル、メチルエチルケトン、メチルイソブチルケトン)の8品目で塗料配合溶剤の52.6%(H29年度)を占めるため、8品目の使用量から算出。

■ 排出量の推計方法

PRTR対象(トルエン、キシレン、エチルベンゼン)と塗料用溶剤5品目(ブタノール、イソプロピルアルコール、酢酸エチル、メチルエチルケトン、メチルイソブチルケトン)の8品目で塗料配合溶剤の52.6%(H29年度)を占めるため、8品目の大気排出量から算出。

■ 参加企業数の増減理由

ほぼ昨年と同水準。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(その他の対策)

- ・水性塗料・低VOC塗料系への代替
- ・設備密閉度の向上
- ・洗浄溶剤の減量や再生利用及び洗浄時間の短縮
- ・代替物質への転換
- ・吸着設備の設置

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

一般社団法人 日本塗料工業会(日塗工)は改正大気汚染防止法の施行(平成18年4月1日)に先立って、平成15年12月から「塗料・塗装によるVOCの排出抑制」に取り組んでおり、合わせて塗料の出荷量からVOC排出量を推計し、その結果を毎年報告している。

今後もVOC排出量推計を継続し、塗料・塗装によるVOCの排出抑制に取り組む。具体的には、平成22年度比で悪化しないよう漸減を目指す。各分野においてVOC削減の努力は引き続いてなされており、期限は当面定めない(現時点で無期限)。

(自己評価)

(1) 塗料製造事業所・工場からのVOCの排出状況は、平成29年度の2129トンから平成30年度は2236トンとなり、5.0%増加しているが、排出量の減少割合は、平成12年度に対して43%減である。

(2) 溶剤使用量は平成29年度比0.4%減である。

(3) 溶剤使用量の減少割合に比して、VOC排出量の増加は大きいだが、これは、昨年未回答で排出量の多い企業の回答があったことや、調査8溶剤の使用係数の変動によるものであり、全体としては、排出抑制対策の効果が表れていると考える。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

日本自動車部品工業会

○ 捕捉範囲

■ 業種

(代表的な業種) 31 輸送用機械器具製造業
輸送用機械器具製造業

■ 加盟率

約65% (出荷額から推計)

■ 捕捉率

同上 (同上)

○ 主な排出源

■ 塗装

■ 接着

■ 洗浄

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

会員企業中、アンケート回答のあった企業を対象

■ 対象物質

全VOCを対象

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	36,857	30,056	18,248	17,941	17,890	17,722	18,023	17,465	17,372	11,973	10,707
排出量	22,725	18,121	9,493	8,533	8,387	7,942	7,412	6,905	7,054	4,733	5,412
(増減率 ^{※2})	-	(▲20%)	(▲58%)	(▲62%)	(▲63%)	(▲65%)	(▲67%)	(▲70%)	(▲69%)	(▲79%)	(▲76%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	145	139	105	112	112	113	114	115	110	96	89
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	9,642	8,317	3,812	3,493	4,027	4,613	3,287	2,845	2,902	2,373	2,322
(対全国比)	(42%)	(46%)	(40%)	(41%)	(48%)	(58%)	(44%)	(41%)	(41%)	(50%)	(43%)
関東地域 ^{※3}	2,120	2,017	1,253	955	880	631	521	413	516	541	637
関西地域 ^{※4}	121	92	28	25	35	27	32	36	59	86	56
中部地域 ^{※5}	7,401	6,208	2,531	2,513	3,112	3,955	2,734	2,396	2,327	1,746	1,629

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

PRTR届出制度の公開データの輸送用機械器具製造業で報告のあった全会員会社を対象に自主行動計画のフォローアップ調査を実施し、全対象会社の回答数量を集計している。

■ 排出量の推計方法

PRTR届出制度の公開データの輸送用機械器具製造業で報告のあった全会員会社を対象に自主行動計画のフォローアップ調査を実施し、全対象会社の回答数量を集計している。

■ 参加企業数の増減理由

若干減少した。企業の合併、部工会からの退会等

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(原材料の転換・削減)
VOC対応塗料を使用し低減化

(その他の対策)

- ・排ガス処理・回収装置の設置
- ・代替物質に変更
- ・設備・工程管理の適正化等
- ・洗浄方法の変更

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

2010年度の状況を来年度以降においても維持していくよう、2010年度までに取り組んだ内容を今後も継続実施するとともに新たな方策も加え推進する。また、会員会社へ積極的に改善策を啓発していくことで、排出状況を悪化させないように努めることとする。

(自己評価)

2018年度実績におけるVOC排出量は前年度に比べて減少した。塗装工程、洗浄工程におけるVOC排出削減対策は継続的に実施しており、今後も着実に取り組みを進めていく。

○ その他

「規制対象施設からの排出量」を把握していないため

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 日本自動車工業会
- 補足範囲
 - 業種 (代表的な業種) 31 輸送用機械器具製造業
輸送用機械器具製造業
 - 加盟率 100% (輸送用機械器具製造業のうち自動車製造事業者の加盟率100%)
 - 補足率 100% (同上)
- 主な排出源
 - 塗装 ・塗装ブース
- 除外・すそ切りの考え方
 - 対象企業 会員企業14社+会員企業のブランド製品を製造している事業所
 - 対象物質 塗料中のVOC(塗料全体-固形分)、溶剤

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	72,685	58,664	37,167	36,231	33,752	35,438	34,608	31,668	34,181	36,382	34,892
排出量	52,685	41,199	25,623	24,921	24,224	25,106	23,848	22,169	23,367	24,835	24,254
(増減率 ^{※2})	-	(▲22%)	(▲51%)	(▲53%)	(▲54%)	(▲52%)	(▲55%)	(▲58%)	(▲56%)	(▲53%)	(▲54%)
うち法規制対象施設	47,575	37,203	23,138	22,504	21,885	22,342	21,164	19,854	20,546	22,168	21,503
(増減率 ^{※2})	-	(▲22%)	(▲51%)	(▲53%)	(▲54%)	(▲53%)	(▲56%)	(▲58%)	(▲57%)	(▲53%)	(▲55%)
原単位(g/m ²)	79.6	56.2	39.0	37.0	35.3	34.6	33.2	32.3	33.1	33.6	32.9
(増減率 ^{※2})	-	(▲29%)	(▲51%)	(▲54%)	(▲56%)	(▲57%)	(▲58%)	(▲59%)	(▲58%)	(▲58%)	(▲59%)
参加企業数	14	14	16	16	16	16	16	16	16	16	16
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量}}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

$$\text{VOC使用量(kg)} = \text{塗料の使用量} \times (1 - \text{塗料の固形分比率})$$

■ 排出量の推計方法

$$\text{VOC排出量(kg)} = \text{VOC使用量} \times (1 - \text{塗料の乾燥炉への持込率}) + \text{VOC使用量} \times \text{塗料の乾燥炉への持込率} \times (1 - \text{乾燥炉のVOC除去率})$$

■ 参加企業数の増減理由

平成27年度目標値を設定するにあたり、自工会非会員だが会員ブランドの製品を製造している事業所で、車工会にも属していない事業所を追加した。

そのため、基準年とした平成22年度より参加企業が14→16に増えた。それに伴い、2010年度の実績も修正した。

○ 排出抑制に貢献する対策等
 ■ 対策及びその効果、コスト

- (その他の対策)
 ・塗着効率向上
 ・洗浄シンナー対策
 ・水系塗料の採用 等

排出抑制技術名	対策技術の概要	物質	年間削減量(トン)	
①塗着効率向上				
-1	静電ガン	トルエン キシレン 等		
-2	メタリックペル塗装			
-3	ロボット塗装化			
②洗浄シンナー対策				
-1	使用量低減		洗浄方法改善	72
-2	回収		基準見直しによる回収量増加	1.6
③カートリッジタイプ塗料の採用				
④ハイソリッド塗料の採用				
⑤水系塗料の採用				
			工場リニューアル(中塗り・ベース水性化)	274.5
⑥その他				
		日常改善、静電助剤添加による塗着効率向上 等	101.1	

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

自工会全体として、2020年度のVOC排出量原単位(g/m²)を、2010年度(注)比で悪化しないように取り組んでいく。

(自己評価)

- ・平成30年度原単位は32.9g/m²と対前年0.7g/m²改善。
- ・前年度より塗装面積が0.4%減少しているが、各社の取り組み努力により、排出量は2.3%削減(▲0.6千t)している。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

線材製品協会

○ 捕捉範囲

■ 業種

(代表的な業種) 22 鉄鋼業
伸線業

■ 加盟率

不明(従来、経済産業省 生産動態統計と協会自主統計の生産量から加盟率を推定していたが、2014年から生産動態統計の集計対象が全事業所から30人以上の事業所に縮小され、30人未満の事業所の多い伸線業においては、同計算では対応ができなくなった。)

■ 捕捉率

同上(同上)

○ 主な排出源

■ 洗浄

・ステンレス鋼線の製造工程((潤滑剤の造膜、洗浄)

■ 塗装

・カラー釘の塗装工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

会員企業中、VOCを物質当たり1トン以上排出している企業を対象

■ 対象物質

PRTR対象6物質、PRTR対象外4物質(キシレン、ジクロロメタン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、1,3,5-トリメチルベンゼン、トルエン、酢酸エチル、メチルエチルケトン、イソプロピルアルコール、アセトン)

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	1,436	1,006	358	325	307	305	298	247	255	269	285
排出量	1,291	894	291	241	238	231	223	191	192	201	198
(増減率 ^{※2})	-	(▲31%)	(▲77%)	(▲81%)	(▲82%)	(▲82%)	(▲83%)	(▲85%)	(▲85%)	(▲84%)	(▲85%)
うち法規制対象施設	239	227	159	113	103	107	90	91	90	78	70
(増減率 ^{※2})	-	(▲5%)	(▲33%)	(▲53%)	(▲57%)	(▲55%)	(▲62%)	(▲62%)	(▲62%)	(▲67%)	(▲71%)
参加企業数	16	16	16	16	8	8	8	8	8	8	8
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	942	784	258	214	212	210	207	174	173	188	187
(対全国比)	(73%)	(88%)	(89%)	(89%)	(89%)	(91%)	(93%)	(91%)	(90%)	(94%)	(94%)
関東地域 ^{※3}	65	30	2	4	4	4	3	3	3	2	2
関西地域 ^{※4}	796	739	256	210	209	206	205	171	170	186	185
中部地域 ^{※5}	81	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

(当該年度の排出量-12年度の排出量)

※2 増減率(%) = $\frac{\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量}}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

- ①年間使用量全量(全量蒸発)
- ②年間購入量

■ 排出量の推計方法

- ①年間使用量全量(全量蒸発)
- ②年間購入量 - 再生引取量
- ③年間購入量 - 廃液量

■ 参加企業数の増減理由

昨年度と同数の参加企業数であった。

当初取り組み企業数からの変動は、VOCを含まない溶剤に切り替えるなどの対策により、対象企業が減少したことによるもの。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(作業方法の改善等)

工程変更(VOC使用洗浄ライン撤去)による使用料削減

(原材料の転換・削減)

脱脂溶液・接着剤など、VOCを含まない水溶性溶剤への開発・切り替え。

(設備導入・改良等)

・VOC回収装置を2006年より導入開始、2017年以降は計9台が稼働中。

投資総額 約3500万円。

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

5年後(平成30年度)において、平成22年度対比で悪化しないよう継続してVOC排出抑制に取り組むこととする。

(自己評価)

・2018年度(H30年度)は、基準となる2010年度(H22年度)に対して▲93トン(▲32%)の削減。前年度から▲3トン(▲1.5%)削減。

・取組指針(H30年度において、H22年度排出量を超過しない)に向けて、引き続きVOC削減施策を継続する。

・今後は、VOCを含まない溶剤への切り替え(検証試験後に実行)が未対応の製品への取り組みが主体となる。

・自主取組対象企業数は、前年度と同数のVOC排出実績1トン以上あった8社。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

日本伸銅協会

○ 捕捉範囲

■ 業種

(代表的な業種) 23 非鉄金属製造業
非鉄金属製造業

■ 加盟率

68.3% (協会会員会社数は41社であるが、業界全体の企業数が正確に把握できていないため、約60社と推定した。)

■ 捕捉率

60.5% (業界全体の生産量に占める、回答のあった大手7企業の生産量の割合)

○ 主な排出源

■ 洗浄

・伸銅品の仕上工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

会員企業中アンケート回答のあった企業を対象

■ 対象物質

トルエン、キシレン、ジクロロメタン、1,3,5トリメチルベンゼン、エチレングリコール、エチルベンゼン、ベンゼン、メタノール、エタノール、イソプロピルアルコール、酢酸エチル、メチルエチルケトン、酢酸ブチル、アセトン、その他

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	204	209	178	166	144	232
排出量	436	184	88	83	82	86	72	63	72	59	72
(増減率 ^{※2})	-	(▲58%)	(▲80%)	(▲81%)	(▲81%)	(▲80%)	(▲84%)	(▲86%)	(▲83%)	(▲87%)	(▲84%)
うち法規制対象施設	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	3
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
参加企業数	-	-	-	6	6	6	6	7	8	7	7
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	178	12	3	4	4	4	0	5	5	6	6
(対全国比)	(41%)	(7%)	(3%)	(5%)	(5%)	(5%)	(1%)	(8%)	(7%)	(9%)	(8%)
関東地域 ^{※3}	1	1	0	0	0	0	0	1	1	3	3
関西地域 ^{※4}	17	3	1	4	3	4	0	3	3	2	2
中部地域 ^{※5}	161	9	1	0	0	1	0	1	0	1	1

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

(当該年度の排出量-12年度の排出量)

※2 増減率(%) = $\frac{\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量}}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

会員企業中回答のあった大手7社の排出量の合計

■ 排出量の推計方法

会員企業中回答のあった大手7社の排出量の合計

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(原材料の転換・削減)

- ・油性塗料から水性塗料への変更
- ・化学研磨液の変更

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

全体として5年後(又は3年後)に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。

(自己評価)

今年度はVOC使用量が増加したが、排出量は例年通りであった。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名

全国鍍金工業組合連合会

- 捕捉範囲
 - 業種 (代表的な業種) 24 金属製品製造業
金属製品製造業
 - 加盟率 約94% (従業員ベース92%、事業所数ベース96%)
 - 捕捉率 同上 (同上)
- 主な排出源
 - 洗浄 ・被めっき物の前処理工程と仕上げ工程

- 除外・すそ切りの考え方
 - 対象企業 有害大気汚染物質の自主管理における企業を対象
 - 対象物質 連合会で使用している2物質(トリクロロエチレン、ジクロロメタン)を対象

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量※1	-	-	-	-	-	925	920	862	844	802	789
排出量	1,356	992	846	761	760	730	725	718	703	668	655
(増減率※2)	-	(▲27%)	(▲38%)	(▲44%)	(▲44%)	(▲46%)	(▲47%)	(▲47%)	(▲48%)	(▲51%)	(▲52%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	8	7	6	4	4	3	2
(増減率※2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	-	207	185	175	164	146	129	113	110
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	959	776	530	474	475	458	386	333	328	314	306
(対全国比)	(71%)	(78%)	(63%)	(62%)	(63%)	(63%)	(53%)	(46%)	(47%)	(47%)	(47%)
関東地域※3	548	502	367	326	326	316	293	263	260	247	242
関西地域※4	274	213	109	102	103	98	80	51	49	47	45
中部地域※5	137	61	54	46	46	44	13	19	19	20	19

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量}}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

- 使用量の推計方法
施設に投入したVOCの合計量を集計

- 排出量の推計方法
使用量の合計から業者引き取り量の合計を差し引いた数量

- 参加企業数の増減理由
それまでに使用を中止した事業所を数にカウントしていたが、29年度はそれらの事業所や廃業した事業所を削除した。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(作業方法の改善等)

- ・不使用時の蓋の励行、開口部減による蒸発防止
- ・治具の見直しによる汲み出し量削減
- ・稼働時間の制限、作業時間の短縮
- ・洗浄対象物の削減
- ・浴寿命の見直し
- ・冷却水量増(5万円)

(原材料の転換・削減)

可能なものはアルカリ脱脂へ変更
代替品(1-プロモプロパン)へ変更
溶剤洗浄を廃止あるいは使用中止

(設備導入・改良等)

- ・蓋設置(6万円)
- ・炭化水素系洗浄装置の導入(1000万円)
- ・排気設備更新(30万円・230万円)
- ・冷却装置の新設(80万円)
- ・溶剤洗浄装置3台中の1台新規更新(500万円)

(取引先企業、消費者等への周知)

検討

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

平成7年度より洗浄分野で使用するトリクロロエチレン等の有機溶剤の大気排出削減の自主取り組みを継続しており、平成22年度の排出量は平成12年度比37.6%減を達成した(国の目標は同30%減)。平成23年度以降は、それまでで最小の排出量を記録した平成21年度値を上回らないことを目標として取り組んでいく。

(自己評価)

平成30年度も21年度の排出量を下回り、目標を達成した。

○ その他

平成7年度より、洗浄分野で使用するトリクロロエチレン等の有機溶剤の大気排出削減の自主取り組みを継続している。平成30年度は平成7年度比で約68%の削減を達成した。

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

日本電線工業会

○ 捕捉範囲

■ 業種

(代表的な業種) 23 非鉄金属製造業
非鉄金属製造業

■ 加盟率

約75% (出荷額ベース)

■ 捕捉率

約72% (同上)

○ 主な排出源

■ 塗装

・巻線製造工程(絶縁エナメルワニスの溶剤)

■ 接着

・光ファイバ製造工程

■ その他

・銅荒引線製造工程(圧延時の被膜)

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

会員企業中、VOC使用実績のある企業を対象

■ 対象物質

PRTR対象85物質と非PRTR対象19物質(ただし、使用量が月間100kg未満の物質は集計対象外)

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	10,434	7,398	5,549	5,565	6,201	6,478	6,160	5,747	6,358	6,393	6,111
排出量	1,439	1,013	707	631	575	619	591	573	604	633	543
(増減率 ^{※2})	-	(▲30%)	(▲51%)	(▲56%)	(▲60%)	(▲57%)	(▲59%)	(▲60%)	(▲58%)	(▲56%)	(▲62%)
うち法規制対象施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
参加企業数	120	120	120	120	120	120	119	119	117	113	113
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	519	325	268	238	180	207	205	234	243	273	238
(対全国比)	(36%)	(32%)	(38%)	(38%)	(31%)	(33%)	(35%)	(41%)	(40%)	(43%)	(44%)
関東地域 ^{※3}	230	73	85	54	40	52	48	51	54	63	53
関西地域 ^{※4}	110	129	64	59	34	37	30	48	51	47	52
中部地域 ^{※5}	179	123	119	125	107	118	127	135	138	162	134

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

(当該年度の排出量-12年度の排出量)

※2 増減率(%) = $\frac{\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量}}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

VOC年度初在庫量 + VOC購入量 - VOC年度末在庫量 = VOC使用量

■ 排出量の推計方法

VOC使用量 - 密閉式回収(活性炭等に吸着)ガス化による燃焼等 = VOC排出量

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(原材料の転換・削減)

ケーブル表面印字にレーザーマーカを導入

(設備導入・改良等)

局所排気装置用活性炭フィルタ採用による放出量削減

(その他の対策)

従来同様VOC削減努力を継続中である。効果的なVOC排出量削減は実施済みも、運転条件を見直し最適化を図ること、メンテナンスを継続的に確実に実施することで、より一層の排出量削減を目指す。

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

当工業会では、これまでも当会会員社を挙げてVOC排出量削減に取り組んできた。今後(少なくとも3年後)も平成22年度レベルを悪化させないよう、継続してVOC排出量の削減・管理に努める。

(自己評価)

2018年度メタル(銅・アルミ)電線の生産量は前年度対比3.4%増、光ファイバケーブルの生産量は同0.1%増であった。VOC使用量は同4.4%(282t)、排出量は同14%(90t)いずれも減少した。平成22(2010)年度対比では、使用量は10%(562t)増加したものの排出量は23%(164t)減少、また、基準年である平成12(2000)年度対比では、使用量は41%、排出量は62%いずれも減少した。

○ その他

なし。

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **日本アルミニウム協会**
- 捕捉範囲
- 業種 (代表的な業種) 23 非鉄金属製造業
非鉄金属製造業
 - 加盟率 約99% (非鉄金属製造業のうちアルミニウム圧延、押出加工事業者の加盟率、生産量ベース、日本アルミニウム協会統計)
 - 捕捉率 約94% (協会会員企業の捕捉率、生産量ベース、日本アルミニウム協会統計)
- 主な排出源
- 塗装 ・缶蓋用材、エアコンフィン、カラーアルミの塗装・焼付工程
 - 洗浄 ・圧延コイル、押出材の脱脂・洗浄工程
 - 印刷 ・箔への印刷工程
 - 接着 ・箔、各種フィルムとの接着工程
- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 ・圧延大手5社、箔圧延大手4社を対象
・建材押出大手5社は他団体の自主行動計画に参加。その他会員企業には呼びかけ中
 - 対象物質 非PRTR対象物質については不明なため、PRTR対象の7物質に限定(エチルベンゼン、キシレン、1-ジクロロ-1-フルオロエタン、ジクロロメタン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、トルエン)

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	2,091	2,066	2,120	2,080
排出量	1,900	569	348	324	327	289	338	285	301	292	277
(増減率 ^{※2})	-	(▲70%)	(▲82%)	(▲83%)	(▲83%)	(▲85%)	(▲82%)	(▲85%)	(▲84%)	(▲85%)	(▲85%)
うち法規制対象施設	386	247	240	176	227	207	248	234	238	232	218
(増減率 ^{※2})	-	(▲36%)	(▲38%)	(▲54%)	(▲41%)	(▲46%)	(▲36%)	(▲39%)	(▲38%)	(▲40%)	(▲44%)
参加企業数	13	13	13	13	13	11	11	11	9	9	9
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	160	108	10	11	12	17	15	14	-	-	-
(対全国比)	(8%)	(19%)	(3%)	(3%)	(4%)	(6%)	(4%)	(5%)	-	-	-
関東地域 ^{※3}	160	108	10	11	12	17	15	14	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量}}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

各社の使用実績により算出。

■ 排出量の推計方法

各社の使用実績から排出量を算出。

■ 参加企業数の増減理由

・平成25年度に、参加企業の内4社が合併したため(2社ずつ計2組)、参加企業数が13社から11社に減少した。

・平成28年度に参加企業で合併があり(3社→1社)、参加企業数が11社から9社になった。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(その他の対策)

- ・工程内対策
- ・排ガス対策(エンドオブパイプ)
- ・その他

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

近年PM2.5等の状況から明らかのように、周辺国からのVOCの流入はまず排除すべきであり、また植物由来のVOCの影響も正当に評価すべきとは認識しつつも、当協会では、基準年度の平成12年度比で排出量削減率65%を目標に自主行動計画に取り組み、平成23年度に削減率85%を達成した。その後は、平成22年度のVOC排出量(343トン)より悪化しないように取り組みを続け、平成30年度まで継続してこの値を下回る排出量を維持した。

令和元年度以降の5年間については、目標を引き上げ、平成26年度のVOC排出量(338トン)より悪化しないように取り組んでいく。

(※直近5年間(平成26～30年度)で最も高かった平成26年度のVOC排出量(338トン)を新たな目標値として設定した。)

(自己評価)

平成30年度のVOC排出量は前年度比5%減の277トンとなった。VOC排出目標としては、平成22年度比(348トン)で悪化しないとする目標を達成できた。

令和元年度以降の5年間については、目標を引き上げ、平成26年度のVOC排出量(338トン)より悪化しないように取り組んでいく。

○ その他

- ・地域別対策量の対策地域については、特定の事業所の排出量が分かってしまう懸念があるため記載しない。

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

日本建材・住宅設備産業協会

○ 捕捉範囲

■ 業種

(代表的な業種) 24 金属製品製造業
①金属製品製造業、②パルプ・紙・紙加工品製造業、③窯業・土石製品製造業

■ 加盟率

約90% (①85%(サッシ業界内)、②95%(繊維板/パーティクルボード製造業界内)、③100%(窯業系サイディング、火山性ガラス、ロックウール保温材製造業界内))

■ 捕捉率

約86% (業界団体内の自主行動計画参加企業の出荷率)

○ 主な排出源

■ 塗装

・サッシの塗装工程、窯業外装材の塗装工程

■ 接着

・繊維板、パーティクルボードの接着工程、ロックウール保温材のフォーミング工程、ドア等のラッピング接着工程

■ 洗浄

・ウレタン注入機の洗浄

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

会員団体中、①VOCを排出していない、②他団体の自主行動計画に参加する、③自団体で実施するとして企業・団体を除く5団体を対象

■ 対象物質

PRTR対象物質のうち排出量の割合の上位を占める物質を対象団体各々が選定した

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	10,109	7,639	3,876	3,344	2,383	2,521	2,424	2,137	1,783	1,734	1,526
排出量	8,031	6,059	2,208	1,922	1,657	1,787	1,842	1,548	1,293	1,174	993
(増減率 ^{※2})	-	(▲25%)	(▲73%)	(▲76%)	(▲79%)	(▲78%)	(▲77%)	(▲81%)	(▲84%)	(▲85%)	(▲88%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	-	37	37	36	35	33	33	33	33
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	3,682	3,283	1,586	1,252	980	1,114	967	771	532	449	424
(対全国比)	(46%)	(54%)	(72%)	(65%)	(59%)	(62%)	(52%)	(50%)	(41%)	(38%)	(43%)
関東地域 ^{※3}	1,069	695	1,181	811	547	521	433	417	361	255	229
関西地域 ^{※4}	194	197	125	144	165	174	134	115	128	158	155
中部地域 ^{※5}	2,419	2,391	280	297	268	419	400	239	43	36	40

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - 12年度の排出量)}{12年度の排出量}$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

VOC使用量は、各業界各社の購入実績や施設ごとの使用実績より算出した。

■ 排出量の推計方法

各業界毎に算出方法が異なるため、過去の自主行動計画報告書を参照してください。

■ 参加企業数の増減理由

なし

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(作業方法の改善等)

- ・接着施設の温度管理の徹底
- ・吐出器や配管の改善による歩留まり向上
- ・ホルマリンキャッチャー剤の改良・導入

(原材料の転換・削減)

- ・溶剤系塗料から水系塗料への切換え及び塗料の塗着、塗布の向上による塗料使用原単位の低減
- ・洗浄剤の代替え促進や使用量削減、洗浄用廃溶剤の回収、再生
- ・ラッピング用接着剤のホットメルト等への切換えおよびジクロロメタンを含まないものへの代替化
- ・接着力向上による使用量の削減

(設備導入・改良等)

- ・塗装方法の改善(塗装ライン設備更新)
- ・VOCガス除去装置の導入
- ・水性化設備改造による水系塗料への切り替え
- ・排ガス触媒性能の安定運用

(取引先企業、消費者等への周知)

- ・キシレンの室内濃度指針値改定を受けて、キシレンの放散速度基準値改定の公表並びに新基準値に対応した各団体の自主表示制度の改訂、そして各企業、取引先への説明会の開催、周知等による意識の向上と更なる削減に取り組んでいる。

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

- ・今まで取り組んできた内容を、継続実施するほか、設備改善の際には、排出状況の改善にも資する様配慮するなど努力する。
- ・2020年度の目標値として、少なくとも平成22年度(2010年度)比で悪化しないよう取り組んで行く。

(自己評価)

平成30年度の排出量は平成22年度から更に、55%減(平成29年度では47%減)となり、目指す方向性について充分対応できる結果となった。

塗料の塗着、塗布の向上による塗料使用原単位の低減化や水性化設備改造による水系塗料への切り替え、塗装設備の塗装効率改善や設備の燃料転換等、建材のF☆☆☆☆生産比率向上などの取り組みが確実に行われた結果である。しかし、溶剤系塗料から水性塗料へ切り替えに関しては、全面的にはまだ対応できていないため、改良の余地を残している。

○ その他

(日本窯業外装材協会)

- ・昨年に引続き、溶剤系塗料から水性塗料へ切り替えによる削減を推進している。
- ・会員別で、水性塗料へ切り替えたことにより前年比で排出量を約12%削減できた事例があった。

(日本サッシ協会)

- ・ジクロロメタンは、洗浄用は代替化が完了した一方で、一部の接着剤はまだ代替化が難しく、代替可能なものをさらに模索している。

(日本繊維板工業会)

- ・VOC排出抑制に対する会員の意識が高い
- ・会員各社から、ホルムアルデヒド排出量原単位の低減に向けた方策の提出がある。
- ・ホルムアルデヒド放散等級自主表示制度を運営している。2018年のF☆☆☆☆生産比率は95.3%と僅かながらも進展が見られた。

(ロックウール工業会)

- ・ロックウール繊維の成形品を保つために使用されるホルムアルデヒド含有のフェノール樹脂をノンホルムアルデヒド樹脂に変更することを継続検討している。

※・法的対象施設として該当するものがないため、記載なし。

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

天然ガス鉱業会

○ 捕捉範囲

■ 業種

(代表的な業種) 05 鉱業、採石業、砂利採取業
原油・天然ガス鉱業

■ 加盟率

90%以上 (原油・天然ガス鉱業のうち天然ガス生産事業者の加盟率、天然ガス生産量ベース)

■ 捕捉率

ほぼ100% (国内天然ガス生産企業のうち、VOCを発生する企業のほぼ100%をカバー)

○ 主な排出源

■ 貯蔵

- ・原油貯蔵タンク
- ・グリコール再生装置
- ・脱炭酸ガス装置
- ・積み出し作業
- ・工事等に伴う放散ガス

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

会員企業等4社を対象

■ 対象物質

メタンを除く全炭化水素

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	2,603	1,665	3,095	1,278	1,082	1,028	1,155	878	871	1,839	1,656
(増減率 ^{※2})	-	(▲36%)	(+19%)	(▲51%)	(▲58%)	(▲61%)	(▲56%)	(▲66%)	(▲67%)	(▲29%)	(▲36%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	-	5	4	4	4	4	4	4	4
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

(当該年度の排出量-12年度の排出量)

※2 増減率(%) = $\frac{\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量}}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

- ・原油及び天然ガスの生産量に各々標準熱量を掛けて算出

■ 排出量の推計方法

- ・自主行動計画書参照

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(作業方法の改善等)

・原油タンク・グリコール再生装置等に取り付けられているVOC回収・除去設備の運転条件の最適化に努めた。

(設備導入・改良等)

・VOC除去装置の燃焼効率を改善する工事を実施したことにより、設備の稼働率が改善し、放散ガスを大幅に削減することができた。

(その他の対策)

・ガスパイプライン工事における放散ガスの削減

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

全体の排出量を当初の削減目標をクリアした平成23年度の排出量以下を維持するように取り組んでいく。

(自己評価)

会員企業のVOC回収・除去装置は概ね配備が完了している。平成30年度は企業毎に生産供給事業における工事に伴うベント放散及び供給先トラブルによるベント放散、また、北海道に拠点を持つ事業者では、北海道胆振東部沖地震による電力供給停止の影響を受け生産ガスの一時的ベント放散により、VOCの排出があったものの、昨年度排出量及び基準年度排出量よりは減少となっている。

今後もVOC対策設備の最適運転を継続し、引き続きVOC排出削減に努める。

○ その他

VOC排出量のうちの法規制分について、

①原油貯蔵タンクは、貯油量が規制対象となる大きなタンクがないため対象外です。また、②～⑤については、規制対象外です。(排出量の比較的大きい設備等からの排出を自主的に削減対象と設定したもの)

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

石油連盟

○ 捕捉範囲

■ 業種

(代表的な業種) 17 石油製品・石炭製品製造業□
石油製品製造業、石油販売業

■ 加盟率

100% (石油製品製造業、石油販売業のうち石油精製、石油販売(元売)事業者の加盟率)

■ 捕捉率

100% (会員企業の捕捉率)

○ 主な排出源

■ 貯蔵

・石油タンク

■ 出荷設備

・陸上出荷(タンクローリー、タンク車)

・海上出荷(船)

■ 対象石油製品等

・原油、ナフサ、ガソリン

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

16社(非加盟会社含む)を対象

■ 対象物質

炭化水素(排出量の算出方法については、「石油産業における炭化水素ベーパー防止トータルシステム研究調査報告書」(昭和50年3月、資源エネルギー庁)の排出量計算式を使用)

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	61,426	54,859	42,551	41,853	39,229	39,373	37,273	37,287	36,894	35,246	33,259
(増減率 ^{※2})	-	(▲11%)	(▲31%)	(▲32%)	(▲36%)	(▲36%)	(▲39%)	(▲39%)	(▲40%)	(▲43%)	(▲46%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	2,976	2,261	2,176	2,837	2,237	2,194
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	24	24	19	18	17	17	17	16	16	16	16
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

(当該年度の排出量-12年度の排出量)

※2 増減率(%) = $\frac{\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量}}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

(別紙)排出量の算出方法のとおり

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(その他の対策)

- ・固定屋根式タンクの内部浮き屋根化
- ・出荷設備へのペーパー回収設備の設置

<コスト>

- ・試算では、VOC1トン削減するための費用として、貯蔵タンクでは20～30万円、陸上出荷設備では50～80万円、海上出荷では200～300万円が見込まれる

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

- ・これまでに有害大気汚染物質対策・炭化水素排出削減対策として取り組んできた対応を踏まえ、引き続きVOC排出抑制の継続に努め、総排出量が平成22年度レベルから悪化しないように取組を維持する。
- ・「全体としては少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」ことに取り組みについては、経済活動量に影響もあることから、複数年度の排出量の平均値で評価することが適当と考える。

(自己評価)

陸上出荷設備へのペーパー回収装置の設置、タンクの改造工事などの削減対策の実施、タンクの稼働休止による削減効果などにより、着実に排出量を削減し、平成22年度には基準年度(平成12年度)比30%の排出量削減とした目標を達成、平成30年度も引き続き基準年度(平成12年度)比46%の排出量削減となっている。

○ その他

(別紙)

排出量の算出方法

「石油産業における炭化水素ベーパー防止トータルシステム研究調査報告書」
(昭和50年3月、資源エネルギー庁)の排出量計算式を使用して算出。

1. 固定屋根式タンクからの排出量

(1) 受入時 (受入ロス)

○排出係数×受入量

○排出係数 (Kg/KL)

原油	0.52
ガソリン・ナフサ	1.00

(2) 貯蔵時 (呼吸ロス)

○排出係数×(タンク容量)^{2/3}

○排出係数 (Kg/(KL・日))

原油	0.3054
ガソリン・ナフサ	0.7064

2. 浮き屋根式タンクからの排出量

(1) 払出時 (払出ロス)

○排出係数/タンク直径 (m) ×払出量

○排出係数 (Kg・m/KL)

原油	0.0141
ガソリン・ナフサ	0.0470

3. 出荷時の排出量

○排出係数×出荷量

○排出係数 (Kg/KL)

	船出荷	ローリー・タンク車
原油	0.12	—
ガソリン・ナフサ	0.19	0.89

以上

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

日本化学工業協会

○ 捕捉範囲

■ 業種

(代表的な業種) 16 化学工業
化学工業

■ 加盟率

不明(加盟率に関しては化学工業に該当する企業数が把握出来ないため算定不可能。)

■ 捕捉率

65%(推計値)(日化協会員の全物質のPRTR報告ベース(排出量:大気+水域)を全国の化学工業の同数値で除した値を採用:約65%(平成29年度実績)

○ 主な排出源

■ 化学製品製造・化学品製造工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

・(一社)日本化学工業協会のPRTR調査に参加している103社(昨年度に比べ、新規登録・退会・合併により、1社増加)のうち削減計画を策定した68社
・ただし、排出量に関しては103社全体の排出量を集計

■ 対象物質

PRTR(328物質 農薬、殺虫剤除く)+日化協独自(105物質)+石油製品由来の鎖状炭化水素(炭素数が4~8までの鎖状炭化水素類(個別に調査している物質を除く)から無機化合物とダイオキシン類を除いた434物質)を集計

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量※1	82,280,000	-	-	-	64,513,303	65,224,805	66,812,725	69,646,716	61,366,763	64,182,777	63,844,810
排出量	88,809	50,690	32,662	29,862	30,822	31,009	30,169	28,596	25,554	26,106	26,038
(増減率※2)	-	(▲43%)	(▲63%)	(▲66%)	(▲65%)	(▲65%)	(▲66%)	(▲68%)	(▲71%)	(▲71%)	(▲71%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率※2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	-	68	68	68	68	68	68	68	68
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	50,529	32,334	19,518	17,572	19,771	19,491	18,949	17,971	16,844	16,318	16,637
(対全国比)	(57%)	(64%)	(60%)	(59%)	(64%)	(63%)	(63%)	(63%)	(66%)	(63%)	(64%)
関東地域※3	32,463	17,620	9,928	8,362	9,928	9,630	9,515	8,943	8,062	8,265	8,094
関西地域※4	10,858	7,953	5,214	4,835	5,640	5,593	5,508	5,025	4,927	4,837	4,843
中部地域※5	7,208	6,761	4,376	4,375	4,203	4,268	3,926	4,003	3,855	3,216	3,700

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

(当該年度の排出量-12年度の排出量)

※2 増減率(%) = $\frac{\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量}}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

1. 対象物質:日化協433物質+C4~C8の炭化水素類から無機化合物とDXNを除いた434物質を集計
2. 使用:製造量と使用量の合計(ただし、燃料として使用したものも一部含む)
3. 基準年度:炭化水素類についてはH12年データが未把握のためH16年度の値を加算した。
(使用量はH12年度にH16年度炭化水素を加算して8,228万トンとした。)

■ 排出量の推計方法

1. 対象物質:日化協433物質+C4~C8の炭化水素類から無機化合物とDXNを除いたVOC対象物質を集計
2. 排出量は大気排出量データの合計
3. 基準年度:炭化水素類についてはH12年データが未把握のためH16年度の値を加算した。
(排出量はH12年度8万トンにH16年度炭化水素1万トンを加算して9万トンとした。)

■ 参加企業数の増減理由

当協会の会員登録・退会、あるいは企業の合併等により企業数が多少変化します。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(作業方法の改善等)

・貯蔵タンクのVOC除去設備の運転改善

(原材料の転換・削減)

・原材料の大気排出量が多い製品の減産、製造中止

(設備導入・改良等)

・省エネ促進による排出風量削減

・溶剤の回収利用

・排出濃度精査による排出係数の見直し

・回収・処理設備(スクラバー、蓄熱式脱臭装置)の増設、新規導入

・溶剤回収の経路改善

(取引先企業、消費者等への周知)

・原料購入先、製品納入先と受け入れ、出荷の頻度調整による回数減少

(その他の対策)

・対策及びその効果については調査を行っていない。これらは個別企業のノウハウに関わる情報でもあり、現状では調査の実施予定はない。

但し、排出量の増減理由については簡易な調査を実施している。

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

【考え方】

①平成22年(2010)度までに取り組んだ内容を今後も継続して実施し、排出状況を悪化させないように努める。

但し、通常状態を前提とし、経済活動量の大幅増やトラブル等は例外とする。

②定量的かつ統一した数値目標は設定しないものの、会員企業の自主的取組みは継続する。

③経済的取組みや職場環境改善などを通じたVOC排出削減を推奨する。

【目指すべき時期・方向性】

平成31年度(2019年度)以降も、新たな数値目標を設定せず、少なくとも平成22年度(2010年度)比で悪化しないよう自主的取組を継続する。

(自己評価)

活動量の増加に伴う排出量増加もある中で、各社はきめ細かく、地道な対策を自主的に取り組んでおり、VOC排出量の削減に努めている。

具体的には、2010年度比で約20%の削減となっており、目標である「現状非悪化」を維持している。

今後も本取組みを継続していく。

○ その他

関東地域、関西地域、中部地域は以下の通りとして範囲を拡大してデータ集計

関東地区(茨城県、栃木県、群馬県、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県)

関西地区(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県)、中部地区(岐阜県、愛知県、三重県)

・VOC排出量のうち、化学品製造工程における法規制対象施設は、乾燥施設と貯蔵施設も該当する。個別に記載出来ない理由は、全会員からPRTR+日化協独自物質を提出してもらい、そこからVOCを抽出して集計しているため、提出データに法規制の区分まで求めていない(区分毎の集計は事業者にも多大な業務負担が生じる)。

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名

日本印刷産業連合会

- 捕捉範囲
 - 業種 (代表的な業種) 15 印刷・同関連業
印刷産業
 - 加盟率 約90% (出荷額ベース)
 - 捕捉率 約90% (同上)
- 主な排出源
 - 印刷 ・印刷工程及び乾燥工程
 - 接着 ・ラミネート加工工程
- 除外・すそ切りの考え方
 - 対象企業 日印産連傘下の会員企業のうちグラビア印刷(ラミネート、コーター含む)、オフセット印刷を業とする事業所を対象
 - 対象物質 トルエン、酢酸エチル、MEK、IPA、高沸点石油系溶剤を含めた全てのVOC物質を対象

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	204,400	195,000	178,400	175,400	182,700	184,200	169,400	143,100	157,500	152,500	142,300
排出量	115,500	76,600	42,700	35,500	34,600	35,400	28,200	24,500	26,800	22,800	23,600
(増減率 ^{※2})	-	(▲34%)	(▲63%)	(▲69%)	(▲70%)	(▲69%)	(▲76%)	(▲79%)	(▲77%)	(▲80%)	(▲80%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	12,500	11,100	11,000
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	6,189	5,937	5,688	5,441	5,368	5,187	5,002	4,861	4,716
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量は、燃料として使用したものを除く。
(当該年度の排出量 - 12年度の排出量)
 ※2 増減率(%) = $\frac{\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量}}{\text{12年度の排出量}}$
 ※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県
 ※4 関西地域: 大阪府、兵庫県
 ※5 中部地域: 愛知県、三重県
 (注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法
アンケート調査結果から従業員規模別に拡大推計

■ 排出量の推計方法
アンケート調査結果から従業員規模別に拡大推計

■ 参加企業数の増減理由
企業統合、廃業等があった。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(作業方法の改善等)

- ・印刷版の浅版化によるインキ・溶剤使用量削減
- ・インキ・溶剤保管容器の充実(揮発防止)

(原材料の転換・削減)

- ・印刷インキのハイソリッド化(高濃度化)
- ・湿し水のIPA削減・代替化
- ・低VOC洗浄剤の使用
- ・水性インキ等の低VOCインキの使用
- ・使用する接着剤のハイソリッド化

(設備導入・改良等)

- ・排ガス処理装置の設置

(取引先企業、消費者等への周知)

当連合会ホームページに、「日印産連VOC排出抑制自主行動計画及び実施状況」を掲載

<https://www.jfpi.or.jp/topics/detail/id=4269>

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

平成22年度の印刷業界のVOC排出削減率は、産業界の実績56%を上回る63%となり、削減量は72,800tとなっている。今後は直近の削減率を維持するように取り組んでいく。

※参考 平成29年度VOC削減実績、平成12年度比 ▲92,700t 削減率80%

平成30年度VOC削減実績、平成12年度比 ▲91,900t 削減率80%

(自己評価)

平成22年度の維持目標である排出量42,700トン、削減率基準年度比63%に対し、平成30年度は削減量91,900トン、削減率80%と目標を達成した。今後も直近の削減率を維持させるため、業界で策定した環境配慮基準であるグリーン基準に基づいて創設したグリーンプリンティング認定制度を核として取り組んでいく。各事業所における環境負荷低減のための生産プロセスの見直し、VOCの発生を考慮した原材料の選定と転換、排出抑制のための設備導入、効率向上・合理化等の取組を継続し、レベルアップを図ることにより上記方向性の達成を目指す。またVOC排出抑制の取組状況について、当連合会ホームページで周知するとともに、会議や機関誌等での状況報告、セミナーの開催等で徹底していく。

○ その他

特にありません。

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

ドラム缶工業会

○ 捕捉範囲

■ 業種

(代表的な業種) 24 金属製品製造業
金属製品製造業

■ 加盟率

100%

■ 捕捉率

100%

○ 主な排出源

■ 塗装

・ドラム缶及び中小型缶の内面及び外面の塗装工程及び乾燥工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

中小型缶メーカー2社を含む200Lドラム缶メーカー11社を対象

■ 対象物質

「加熱残分」以外(水性塗料の場合は水の含有率を差し引き)を全てVOCとして積算した

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	1,763	1,818	1,592	1,570	1,598	1,545	1,382	1,322	1,157	1,217	1,186
(増減率 ^{※2})	-	(+3%)	(▲10%)	(▲11%)	(▲9%)	(▲12%)	(▲22%)	(▲25%)	(▲34%)	(▲31%)	(▲33%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生産量補正	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	1,430	1,481	1,289	1,286	1,300	1,246	1,077	1,019	874	943	916
(対全国比)	(81%)	(81%)	(81%)	(82%)	(81%)	(81%)	(78%)	(77%)	(76%)	(77%)	(77%)
関東地域 ^{※3}	843	923	833	810	826	792	613	542	487	514	519
関西地域 ^{※4}	587	558	456	476	474	454	464	477	387	429	396
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

(当該年度の排出量-12年度の排出量)

※2 増減率(%) = $\frac{\text{当該年度の排出量} - 12\text{年度の排出量}}{12\text{年度の排出量}}$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

平成12年度を基準年度として、平成29年度の生産量も基準年度と同じと仮定してVOCの排出量を求めた。VOCの対象となる物質は無限にあり、塗料・溶剤類に含まれるVOC対象物質をすべて調べ上げることは、高度な専門知識が必要であり、かつ莫大な労力を要する。

VOCの定義が大気中に揮発する有機化合物であることを考えると、個々の物質を特定して調べ上げることはあまり意味が無く、むしろJIS K 5601-1-2(塗料成分試験方法—第1部:通則、第2節:加熱成分)で規定されている方法で測定した「加熱残分」以外をすべてVOC成分と考え、これからVOC排出量を計算した方が、簡便でかつより正確と考えた。

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(その他の対策)

- ・塗料、溶剤原単位の削減
- ・外装塗装設備改善
- ・塗装装置更新
- ・製品品種・色の集約
- ・塗料の改良
- ・洗浄用溶剤の削減
- ・標準色2色の変更(薄膜塗装可能)

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

ドラム缶業界での排出抑制手法は、平成29年度までにほぼ全て試みられた。今後3年程度では、積極的かつ大規模な排出抑制投資を行う計画が少ない事もあり、全体として3年から5年の範囲で、平成29年度比で悪化しないよう継続した努力を行う。

(自己評価)

平成12年度レベルから着実な削減を実施している。

○ その他

ドラム缶工業会は自主行動計画で排出量を規制しているため、法規制対象施設から発生するVOCは無い。

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

軽金属製品協会

○ 捕捉範囲

■ 業種

(代表的な業種) 24 金属製品製造業
金属製品製造業

■ 加盟率

25% (企業数ベース)

■ 捕捉率

約46% ((VOC使用量ベース)、約90%(他団体で報告している大手4社分を除いた場合の捕捉率))

○ 主な排出源

■ 塗装

・アルミ建材の塗装工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

・会員5社(サッシ4社、專業1社)、会員外3社(專業)のうち、アルミニウム建材塗装の受注加工事業者3社(会員1社、会員外2社)を対象
・加盟アルミ建材メーカー大手4社は、日本建材・住宅設備産業協会の自主行動計画に参加

■ 対象物質

PRTR対象物質のキシレン、トルエン、エチルベンゼンを対象とした(12年度VOC排出量の約8割程度(推定)をカバー)

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	394	380	142	174	196	201	199	222	243	208	208
排出量	349	312	97	137	148	174	168	152	189	175	162
(増減率 ^{※2})	-	(▲11%)	(▲72%)	(▲61%)	(▲58%)	(▲50%)	(▲52%)	(▲56%)	(▲46%)	(▲50%)	(▲54%)
うち法規制対象施設	349	312	97	137	148	174	168	152	189	175	162
(増減率 ^{※2})	-	(▲11%)	(▲72%)	(▲61%)	(▲58%)	(▲50%)	(▲52%)	(▲56%)	(▲46%)	(▲50%)	(▲54%)
参加企業数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

各社の購入実績、施設ごとの使用実績により算出した。

■ 排出量の推計方法

大気排出量 = [使用量] - [水域への排出量] - [廃棄物に含まれる移動量] - [製品としての搬出量]

※水域への排出と製品への含有は微量なので、ほとんどの場合無視できる。

廃棄物への含有率は、分析、自社測定あるいは資材メーカーからの情報で係数を決めている。

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(作業方法の改善等)

・塗装条件の見直しによる塗着効率の改善により使用料を削減

(原材料の転換・削減)

・溶剤系塗料からVOCを含まない粉体塗料への採用(転換)をユーザーに奨めている

(設備導入・改良等)

塗装機の定期点検整備の実施による塗着効率の維持

(取引先企業、消費者等への周知)

・アルミ建材の塗装仕様の決定は、施主、ゼネコンにあり、建築関係の学会等で環境に優しい塗料として「粉体塗装」をユーザーへPRしている。

(その他の対策)

・VOCを使用しない粉体塗装の受注拡大(エンドユーザーへのPR)

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

塗装設備、塗装条件、排ガス処理装置の改善等を行って、使用量に対して排出量の比を減少していくように取り組んでいく。

(自己評価)

当該業種は建設業界の景況に左右され、VOC使用量は建築物件数に比例して推移する。H22が底の状態であったことから、H22年度比では増加した結果となっている。排出抑制対策も一巡してきて、新しい対策は難しい状況といえる。こうした中、VOC使用量当たりの排出量比が増加しないように努力していきたい。また、協会として関連業界とも連携してゼネコン、施主などユーザーと一緒にVOCを含まない「粉体塗装」の普及のための啓蒙活動を継続して行っている。

○ その他

当協会としては、関係団体と連携してVOCを含まない環境配慮型の塗装である「粉体塗装」を溶剤塗装に代わって普及させようと、2009年より委員会を設置して、実態調査による粉体塗装の現状把握、粉体塗装を正しく使用してもらうための品質評価方法の策定など取り組んできている。また、ユーザーに理解してもらうために、関係学協会で研究成果を発表している。地域別排出量を公表していない理由としては、参加企業が少なく、中小の専門社でもあり、非公表を前提に協力頂いた経緯がある。

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

日本プラスチック工業連盟

○ 捕捉範囲

■ 業種

(代表的な業種) 18 プラスチック製品製造業(別掲を除く)
プラスチック製品製造業

■ 加盟率

不明

■ 捕捉率

約10.0%(主要物質のPRTR業種別データとの比較ベース)

○ 主な排出源

■ 成形・加工

・プラスチック成形・加工工程(加工工程にはラミネート、印刷、コーティング、粘着剤塗布等を含む)

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

工業連盟会員中、プラスチック加工業界団体3団体を対象、参加企業は18社

■ 対象物質

年間使用量1トン以上の全VOCを対象

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	12,211	20,193	6,623	6,294	4,760	4,594	4,594	4,662	4,263	4,792	4,533
(増減率 ^{※2})	-	(+65%)	(▲46%)	(▲48%)	(▲61%)	(▲62%)	(▲62%)	(▲62%)	(▲65%)	(▲61%)	(▲63%)
うち法規制対象施設	9,267	-	-	-	-	2,373	2,176	2,236	1,977	2,868	2,759
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	(▲74%)	(▲77%)	(▲76%)	(▲79%)	(▲69%)	(▲70%)
参加企業数	-	-	-	35	32	29	29	18	17	19	18
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	3,138	7,279	2,292	1,957	988	1,240	1,084	1,021	919	1,054	921
(対全国比)	(26%)	(36%)	(35%)	(31%)	(21%)	(27%)	(24%)	(22%)	(22%)	(22%)	(20%)
関東地域 ^{※3}	2,192	4,181	1,300	1,039	350	594	559	468	375	637	590
関西地域 ^{※4}	189	1,062	134	301	118	117	115	60	158	100	99
中部地域 ^{※5}	757	2,036	858	617	520	529	410	493	386	317	232

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

(当該年度の排出量-12年度の排出量)

※2 増減率(%) = $\frac{\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量}}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

購入量及び在庫量等から算出

■ 排出量の推計方法

使用量及び製造ロス量、排出濃度値等から算出

■ 参加企業数の増減理由

参加団体が昨年と比べて1団体減少

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(その他の対策)

- ・系を密閉化する
- ・該当物質用量を削減する
- ・反応率、回収率の向上を図る
- ・除去設備(既設)を利用する

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

【考え方】

- 1) 平成22年度までの取組内容を今後も継続して実施、VOCの排出(抑制)状況を悪化させないように努める。
- 2) 定量的目標値は、当連盟としては設定せず、会員企業の自主的判断に委ねる。
- 3) 作業環境改善などを通じたVOC排出削減を推奨する。

【目指すべき時期・方向性】

「令和3年度までの間、VOCの排出(抑制)状況が、平成22年度比で悪化しないように取り組む」

(自己評価)

平成30年度のVOC排出削減率は平成12年度比で63%であり、平成22年度目標であった4割削減を維持継続している。種々の対策実施結果がVOC削減に寄与したと考える。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

日本オフィス家具協会

○ 捕捉範囲

■ 業種

(代表的な業種) 13 家具・装備品製造業
金属製家具製造業

■ 加盟率

50.6% (製造品出荷額ベース)

■ 捕捉率

31.7% (同上)

○ 主な排出源

■ 塗装

・パネル・箱物塗装など

■ 接着

パネル・デスクなどの心材接着工程など

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

会員であって、製造業を営む企業を対象(61社)。参加は23社

■ 対象物質

PRTR対象41物質及びPRTR対象外16物質を対象。ただし、年間排出量が1トン未満の物質は集計対象外。

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	2,459	1,706	1,220	968	933	1,169	1,288	1,174	1,279	1,302	1,261
排出量	1,977	1,235	680	663	689	727	860	802	796	779	765
(増減率 ^{※2})	-	(▲38%)	(▲66%)	(▲66%)	(▲65%)	(▲63%)	(▲56%)	(▲59%)	(▲60%)	(▲61%)	(▲61%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全社推計	3,153.0	2,428.0	2,049.0	2,180.0	2,108.0	1,992.0	2,219.0	2,214.0	2,159.0	2,214.0	2,168.0
(増減率 ^{※2})	-	(▲23%)	(▲35%)	(▲31%)	(▲33%)	(▲37%)	(▲30%)	(▲30%)	(▲32%)	(▲30%)	(▲31%)
参加企業数	-	-	-	23	23	23	23	23	23	23	23
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	875	516	260	268	185	215	292	270	257	252	227
(対全国比)	(44%)	(42%)	(38%)	(40%)	(27%)	(30%)	(34%)	(34%)	(32%)	(32%)	(30%)
関東地域 ^{※3}	346	247	140	116	51	47	101	67	59	61	58
関西地域 ^{※4}	98	54	21	51	26	21	22	25	18	17	10
中部地域 ^{※5}	431	215	99	101	108	147	169	178	180	174	159

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量}}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

購入量 - 在庫量 = 使用量(含有量はSDSによる)

■ 排出量の推計方法

使用量に排出係数を乗じて算出した。

(使用量を排出先・移動先への分配係数を決め使用量に乗することにより排出量を算出)

■ 参加企業数の増減理由

増減なし

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(作業方法の改善等)

・塗装既存ラインのコンベアスピードアップや、塗着効率改善などで、塗料使用量の削減となり、トルエン、キシレン排出の抑制となる。

(原材料の転換・削減)

溶剤塗装からVOC抑制タイプや塗料粉体塗装、非溶剤系接着剤への切り替え

(設備導入・改良等)

塗装設備の改善、粉体塗装設備の導入など

(その他の対策)

・塗装効率の向上、塗装不良の削減
・接着方法として他の接合方法への変更など

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

当協会におけるVOC排出抑制に関する取組みは、主に塗装工程や接着工程においてなされてきました。2010年以降も、毎年VOCの排出量につきましては、目標達成率をクリアしており、この流れは業界としても定着しております。今後もこの流れを維持し、VOC排出抑制に取り組んでまいります。

(自己評価)

塗装については溶剤塗装から、粉体塗装に移行する企業も増えてきているが、小ロットの製品や、経済的事情などで溶剤塗装も継続して行われている。使用される溶剤型塗料については、トルエンやキシレンフリーの塗料を使用する努力がなされている。同じく接着剤についても、脱トルエン接着剤などへの移行が行われている。

○ その他

法規制対象施設を区分した調査は実施していない。

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 日本表面処理機材工業会
- 捕捉範囲
 - 業種 (代表的な業種) 16 化学工業
化学工業
 - 加盟率 95% (企業数ベース)
 - 捕捉率 95% (同上)
- 主な排出源
 - 化学製品製造・表面処理薬剤製造工程
- 除外・すそ切りの考え方
 - 対象企業 会員企業中、1トン以上VOCを使用している企業を対象
 - 対象物質 ホルムアルデヒド、メチルアルコール、イソプロピルアルコール

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(増減率 ^{※2})	-	(+44%)	(▲43%)	(▲68%)	(▲54%)	(▲54%)	(▲70%)	(▲69%)	(▲55%)	(▲62%)	(▲65%)
うち法規制対象施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
参加企業数	-	-	-	26	26	26	25	25	25	24	24
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(対全国比)	(100%)	(100%)	(100%)	(96%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(70%)	(98%)	(98%)
関東地域 ^{※3}	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関西地域 ^{※4}	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中部地域 ^{※5}	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量}}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

VOC該当の会員企業へのアンケート集計

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等
■ 対策及びその効果、コスト
(作業方法の改善等)
製造工程の見直し

(原材料の転換・削減)
検討

(設備導入・改良等)
施設・設備等の向上

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)
引き続き、平成22年度比の排出状況を悪化させないように努めます。

下記3種を含むVOC成分は表面処理製品の重要な構成成分であり、各企業にて代替品を検討中ですが、めっき析出物性が劣る上にコスト高になる傾向を示し、切り替えが進んでいない状況です。また、ユーザーの海外進出に伴い現地生産等の傾向もありトータルの排出量の減少となっています。

①ホルムアルデヒド:無電解銅めっき液の還元剤として使用しております。代替品を検討中ですが、ホルムアルデヒドに比べてコスト高であったり、浴寿命が短くなる傾向があります。また、無電解めっき液を使用しないプロセスも開発されましたが、信頼性の観点から多層プリント配線板には適さないため、移行が進んでおりません。

②メチルアルコール、イソプロピルアルコール:業界において基本的なアルコールとして広く使用されておりますが、他のVOC成分と同様に過去に代替品を検討したものの、移行が進んでおりません。

(自己評価)

製造工程において、局地排気の導入や環境測定の実施等の対策を継続して実施しております。現状の排出については最小限に抑制していますが、含有製品の生産増減に伴いトータルの排出量も増減する傾向にあります。平成30年度においては、平成29年程度の生産に伴う排出量となっています。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

日本自動車車体工業会

○ 捕捉範囲

■ 業種

(代表的な業種) 31 輸送用機械器具製造業
輸送用機械器具製造業

■ 加盟率

約95% (売上高推定値)

■ 捕捉率

92%以上

○ 主な排出源

■ 塗装

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

会員企業中、VOCを使用している企業を対象

■ 対象物質

全VOCを対象

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	29,500	28,920	18,138	17,714	18,322	18,055	17,552	17,485	16,414	15,475	15,893
排出量	20,300	19,060	11,148	11,129	11,740	11,442	10,261	10,716	9,986	9,495	9,890
(増減率 ^{※2})	-	(▲6%)	(▲45%)	(▲45%)	(▲42%)	(▲44%)	(▲49%)	(▲47%)	(▲51%)	(▲53%)	(▲51%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	5,457	6,720	7,751
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
原単位(g/m ²)	103.2	72.8	51.4	50.0	44.7	43.2	43.5	41.3	40.4	38.9	38.9
(増減率 ^{※2})	-	(▲29%)	(▲50%)	(▲52%)	(▲57%)	(▲58%)	(▲58%)	(▲60%)	(▲61%)	(▲62%)	(▲62%)
参加企業数	-	169	167	170	183	184	183	186	186	193	195
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	11,570	11,126	6,592	6,146	6,045	5,662	5,485	5,547	5,478	5,262	5,269
(対全国比)	(57%)	(58%)	(59%)	(55%)	(51%)	(49%)	(53%)	(52%)	(55%)	(55%)	(53%)
関東地域 ^{※3}	2,728	3,311	1,450	909	783	804	844	808	652	682	730
関西地域 ^{※4}	946	74	99	105	102	128	122	100	109	85	90
中部地域 ^{※5}	7,896	7,741	5,043	5,132	5,160	4,730	4,519	4,639	4,717	4,495	4,449

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

(当該年度の排出量-12年度の排出量)

※2 増減率(%) = $\frac{\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量}}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

大手および各製品分野を代表する16社(売上高比率:92.6%)のデータを基に推定し算出

■ 排出量の推計方法

■ 参加企業数の増減理由

会員193社→195社(会員増)

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(その他の対策)

・水性シンナー変更

(洗浄力向上材料への変更による使用量低減)

(洗浄シンナーの低VOC材への変更)

・脱脂用シンナーの使用量と手吹きスプレー補正範囲の削減。

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

・全体として2000年度比でマイナス50%に取り組んでいく。

(自己評価)

・水性シンナーの洗浄力向上材料への変更、脱脂用シンナーの使用量削減、手吹きスプレー補正範囲の削減などを実施。
又、日常活動として地道な改善活動を実施し削減を進めている結果から原単位目標を達成している。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

日本接着剤工業会

○ 捕捉範囲

■ 業種

(代表的な業種) 16 化学工業
接着剤製造業

■ 加盟率

約70% (製造企業数ベース)

■ 捕捉率

67% (同上)

○ 主な排出源

■ 接着剤製造

・混合行程
・攪拌貯蔵行程
・ろ過行程
・充填行程
・洗浄工程 等

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

会員企業中、接着剤製造企業を対象

■ 対象物質

工業会において、主に使用している9物質を対象

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	30,719	29,990	30,345	31,828	31,170
排出量	598	470	318	323	331	355	323	315	319	334	327
(増減率 ^{※2})	-	(▲21%)	(▲47%)	(▲46%)	(▲45%)	(▲41%)	(▲46%)	(▲47%)	(▲47%)	(▲44%)	(▲45%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	85	85	85	85	85	85	85	83	83	83
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	240	168	109	144	149	149	127	124	127	132	147
(対全国比)	(40%)	(36%)	(34%)	(45%)	(45%)	(42%)	(39%)	(39%)	(40%)	(40%)	(45%)
関東地域 ^{※3}	93	61	42	48	52	44	40	39	36	37	34
関西地域 ^{※4}	71	35	26	50	50	55	38	36	35	36	52
中部地域 ^{※5}	76	72	41	46	47	50	49	49	56	59	61

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

(当該年度の排出量-12年度の排出量)

※2 増減率(%) = $\frac{\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量}}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

会員アンケートによる。

■ 排出量の推計方法

使用量 × 0.0105 (会員に対する排出率調査結果による)

■ 参加企業数の増減理由

増減なし。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(取引先企業、消費者等への周知)

4VOC基準適合登録製品の使用を推奨。

(その他の対策)

- ・水性形、無溶剤形、高固形分型接着剤への置き換え
- ・設備密閉度の向上 ・4VOC自主管理制度を推進

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

3年後には少なくとも平成22年度の削減に取り組んでいく。

(自己評価)

H30年度はVOC使用量、排出量ともに平成29年度より削減となった。引き続き「その他の対策」を推進する。

○ その他

法規制対象施設の排出量については、調査を行っていません。

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

プレハブ建築協会

○ 捕捉範囲

■ 業種

(代表的な業種) 24 金属製品製造業
その他の製造業

■ 加盟率

40% (業界全体20社中 計画参加8社)

■ 捕捉率

91.69% (業界全体144,321戸中132,265戸供給)

○ 主な排出源

■ 塗装

・外壁塗装、鉄骨塗装、鉄骨等塗装・電着など

■ 接着

・構造用パネル製造など

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

「一般社団法人プレハブ建築協会環境行動計画エコアクション2020」に参加する8社

■ 対象物質

従来から対象としてきた環境省が示す主なVOC物質100種のうち、PRTR法第一種指定化学物質に指定された46物質に、「国内におけるVOCの現状と抑制の取り組みについて」(2014年4月)を参考に17物質を新たに加え、計63物質を対象とする(2016年度見直し)。なお排出量は過去にさかのぼって集計しなおしている。

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	1,675	1,096	712	1,920	852	506	385	290	247	221	209
(増減率 ^{※2})	-	(▲35%)	(▲57%)	(+15%)	(▲49%)	(▲70%)	(▲77%)	(▲83%)	(▲85%)	(▲87%)	(▲88%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	-	10	10	10	10	10	9	9	8
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

(当該年度の排出量-12年度の排出量)

※2 増減率(%) = $\frac{\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量}}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

PRTR法施行規則に規定する排出量の算出方法等を用い、対象VOC物質を排出する全ての施設及び工程を対象とする

※工場内の作業車用の燃料等におけるVOC物質は排出量が少ないため、対象としない。

※個別の住宅建設・施工現場は対象としない。

■ 参加企業数の増減理由

プレハブ建築協会自主行動計画「エコアクション2020」より1社が退会したため。

(退会した社の2017年度供給戸数はの全供給戸数のうち0.9%、2017年度の大気排出量0)

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(作業方法の改善等)

歩留まりの改善

外壁面材の裏面固定の拡充を通じてタッチアップ塗装を削減 など

(原材料の転換・削減)

外壁塗料の仕様変更、

気泡コンクリート用ビーズ仕様変更(トルエン・スチレン混合物から発泡ポリスチレンへの変更によるスチレンモノマーの発生回避)、

塗装機洗浄用シンナーの弱溶剤系化 など

(設備導入・改良等)

蒸留装置を導入し、トルエンを含む使用済みのラッカーシンナーを再利用

(取引先企業、消費者等への周知)

新規副資材導入時に含有化学物質の種類・量を確認して採用時の条件等を明示すると共に、PRTR法・毒物劇物取締法・労働安全衛生法・環境省通知VOC100物質の各規制対象物質等が含まれていた場合、導入部署に対して将来的な低減もしくはフリー化の検討を要請する等、低VOC製品の優先的な採用を推奨。

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

従来の削減目標2000年比70%削減である年間のVOC大気排出量502tを2013年度に達成(329t)したため、2016年度に目標を見直した。

新たに17物質を加えた計63物質について、大気排出量2010年比60%削減を目指す。

(自己評価)

・VOC大気排出量(63物質)は209.0tで前年比5.3%の削減(2010年比70.6%削減)となった。

・外壁接着剤の仕様変更、外壁塗料の仕様変更、歩留まり改善、使用済みのラッカーシンナーの蒸留装置利用による再利用等により、トルエン(前年比6.0%減)、キシレン(前年比9.2%減)、エチルベンゼン(同1.6%減)と一層の削減が進んだ。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

印刷インキ工業連合会

○ 捕捉範囲

■ 業種

(代表的な業種) 16 化学工業
印刷インキ製造業

■ 加盟率

約90%超 (生産量ベース(化学工業統計及び内部調査等より算出))

■ 捕捉率

同上(同上)

○ 主な排出源

■ インキ製造

・原材料の保管時
・印刷インキの仕掛品・製品の製造時

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

会員企業を対象

■ 対象物質

使用量の多い16物質が対象(16物質で総排出量の98.2%をカバー)

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	423	313	283	205	239	243	255	245	250	251	182
(増減率 ^{※2})	-	(▲26%)	(▲33%)	(▲52%)	(▲43%)	(▲43%)	(▲40%)	(▲42%)	(▲41%)	(▲41%)	(▲57%)
うち法規制対象施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	-
参加企業数	-	-	37	37	40	40	40	40	40	40	40
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

印刷インキ工業連合会で実施している「化学物質の取扱量調査」により、使用量の多い16物質の合計。16物質で、全使用量の98.2%を占める。

■ 排出量の推計方法

印刷インキ工業連合会で設定したPRTR排出配分率算出方法もしくは、各社で独自に設定した排出配分率による。使用量の多い16物質について集計。

■ 参加企業数の増減理由

- 排出抑制に貢献する対策等
 - 対策及びその効果、コスト
(設備導入・改良等)
施設・設備等の密閉化

(その他の対策)

- ・ 燃焼式処理
- ・ 吸着式処理

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

- ・ 全体として5年後に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。
- ・ 有害大気汚染物質に該当しないVOC物質への代替をすすめる。
特に優先取り組み物質であるトルエンの代替を進める。また、キシレン類およびエチルベンゼン等の代替を進める。
- ・ 印刷インキのノンVOC化、低VOC化を進める。

(自己評価)

使用物質の変更、代替に伴いここ数年減少傾向にある。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

日本工業塗装協同組合連合会

○ 捕捉範囲

■ 業種

(代表的な業種) 24 金属製品製造業
金属製品塗装業

■ 加盟率

13.1%

■ 捕捉率

41.5.

○ 主な排出源

■ 塗装

・塗料からの溶剤の揮発

■ 乾燥

・被塗物上の塗料からの溶剤の揮発

■ 洗浄

・器具・被塗物の洗浄溶剤の揮発

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

会員企業を対象

■ 対象物質

会員企業へのアンケート調査の結果、排出量合計の9割以上を占める上位5物質

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	2,646	-	2,091	1,875	1,792	1,883	2,477	2,377	2,747	3,343	2,706
排出量	1,958	-	1,358	1,302	1,253	1,309	1,801	1,474	1,768	2,270	1,875
(増減率 ^{※2})	-	-	(▲31%)	(▲34%)	(▲36%)	(▲33%)	(▲8%)	(▲25%)	(▲10%)	(+16%)	(▲4%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	104	-	104	94	98	90	89	85	80	81	78
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	1,874	-	1,298	1,238	1,178	1,251	1,690	1,396	1,556	1,760	1,391
(対全国比)	(96%)	-	(96%)	(95%)	(94%)	(96%)	(94%)	(95%)	(88%)	(78%)	(74%)
関東地域 ^{※3}	869	-	514	486	460	610	574	511	460	526	364
関西地域 ^{※4}	149	-	42	13	17	160	133	147	6	15	21
中部地域 ^{※5}	856	-	742	739	701	481	983	738	1,090	1,219	1,006

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

(当該年度の排出量-12年度の排出量)

※2 増減率(%) = $\frac{\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量}}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

使用量 = 購入塗料中の含有VOC量 + 購入シンナー量

■ 排出量の推計方法

排出量 = 使用量 - (廃棄塗料中のVOC量 + 廃棄シンナー量)

■ 参加企業数の増減理由

若干減少したが、組合員数の減少も影響している。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(作業方法の改善等)

VOC削減効果によるコストメリットとして、現行塗装方法の見直しによる高塗着効率化の実現。

(原材料の転換・削減)

現用溶剤系塗料の代替として、ハイソリッド系塗料への移行及び粉体塗料や水性塗料への転換など無溶剤塗料への採用を促進

(設備導入・改良等)

低圧スプレイガンや溶剤回復装置の採用によるVOC削減及びコストの低減。

(取引先企業、消費者等への周知)

塗料類におけるVOCの環境影響及び人的影響からの脱VOC化への情報提供

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

取引先より要求される塗膜品質を満足させる非VOC系塗料類の採用と塗装方法による環境改善課題への取り組み。

(自己評価)

日本工塗連では、一昨年に環境方針を作成し「環境影響を的確に認識し、資源の有効を図り、VOCの削減に努める」ことを発表している。特に、塗装現場における取り組みとして、「低圧スプレーガンやスプレーガン洗浄装置」のVOC削減効果から、所属事業所での採油を推進している。

○ その他

従来より、当組合では、法規制対象施設を把握しておらず、その調査もおこなっておりません。同様に排出量も不明でございますので、当報告は空欄とさせて頂いております。

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

日本ゴム工業会

○ 捕捉範囲

■ 業種

(代表的な業種) 19 ゴム製品製造業
ゴム製品製造業

■ 加盟率

88.3% (生産量ベース、ゴム製品統計年報(原材料統計)および当会調査より算出)

■ 捕捉率

85.5% (業界からのVOC排出総量及び2000年度ゴム製品製造業VOC排出量等より算出)

○ 主な排出源

■ ゴム製品製造・塗装、接着、洗浄を含むゴム製品製造工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業 参加企業34社のうち、取扱量が1トン以上の33社が報告対象

■ 対象物質

アセトン、キシレン、酢酸エチル、トルエン、ゴム揮発油、その他炭化水素類等の17物質

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	22,220	19,084	11,582	10,320	8,846	8,314	7,939	7,363	7,188	6,971	6,782
(増減率 ^{※2})	-	(▲14%)	(▲48%)	(▲54%)	(▲60%)	(▲63%)	(▲64%)	(▲67%)	(▲68%)	(▲69%)	(▲69%)
うち法規制対象施設	把握していない	把握していない	把握していない	把握していない	把握していない	把握していない	把握していない	把握していない	把握していない	把握していない	把握していない
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	36	36	36	34	34	34	34	34	34
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量}}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

参加各社の積み上げ(事業場ベースで取扱量1t以上)

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(作業方法の改善等)

- ・洗浄装置と洗浄方法の改良
- ・保管容器の小型化・密閉化
- ・溶剤回収・再利用による排出削減
- ・スワブ塗布量削減のための管理強化

(原材料の転換・削減)

- ・溶剤等の代替品、水系製品への切り替え

(設備導入・改良等)

- ・溶剤処理の仕様改訂
- ・溶剤回収装置の設置
- ・設備の密閉化による大気排出削減
- ・塗着効率の高いスプレーガンの生産設備増強

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

「平成22年度の排出量(平成12年度対比49%削減)未満である『平成12年度対比50%以上削減』を維持し、参加各社は引き続きVOCの排出削減に努める」ことを目標に取り組んでいく。

(自己評価)

平成30年度のVOC排出量は、6,782トンと平成12年比69.5%の削減となり、目標を19.5pt上回り、成果を上げている。

○ その他

法規制対象施設ベースの排出量の実績を把握していない。

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

日本自動車車体整備協同組合連合会

○ 捕捉範囲

■ 業種

(代表的な業種) 89 自動車整備業
自動車車体整備業

■ 加盟率

22.8% (企業数ベース、総務省企業統計から算出)

■ 捕捉率

約2% (日本塗料工業会の自動車補修分野における排出量から算出)

○ 主な排出源

■ 塗装

・事故等により破損した自動車のボデー・バンパー等の補修塗装

■ 乾燥

・スプレーガンによる吹き付け塗装時に発生する塗料からの溶剤の揮発

■ 洗浄

・スプレーガンの洗浄溶剤の揮発

■ 調色

・塗料の調色作業時の溶剤の揮発

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

全会員企業

■ 対象物質

塗料中に含まれる全VOC

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	536	-	333	312	311	299	321	342	312	332	260
(増減率 ^{※2})	-	-	(▲38%)	(▲42%)	(▲42%)	(▲44%)	(▲40%)	(▲36%)	(▲42%)	(▲38%)	(▲51%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全組合員(推計)	13,143.0	-	5,137.0	4,568.0	4,408.0	4,127.0	4,192.0	5,573.0	4,033.0	3,971.0	3,646.0
(増減率 ^{※2})	-	-	(▲61%)	(▲65%)	(▲66%)	(▲69%)	(▲68%)	(▲58%)	(▲69%)	(▲70%)	(▲72%)
参加企業数	-	-	1,267	534	534	458	393	294	357	385	313
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

使用量1 = (塗料購入量 - 年度末在庫量 + 前年度在庫量) × (1 - 固形分率)

使用量2 = (パテ購入量 - 年度末在庫量 + 前年度在庫量) × (1 - 固形分率)

使用量3 = シンナー購入量 - 年度末在庫量 + 前年度在庫量

年間VOC使用量 = 使用量1 + 2 + 3

■ 排出量の推計方法

排出量1 = (塗料購入量 - 年度末在庫量 + 前年度在庫量 - 廃塗料) × (1 - 固形分率)

排出量2 = (パテ購入量 - 年度末在庫量 + 前年度在庫量 - 廃塗料) × (1 - 固形分率)

排出量3 = シンナー購入量 - 年度末在庫量 + 前年度在庫量 - 廃シンナー

年間VOC排出量 = 排出量1 + 2 + 3

■ 参加企業数の増減理由

・会員数の減少及び平成23年度末の削減目標が達成され、規制の見直しが無かったこと

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(その他の対策)

- ・塗料の塗着効率の向上
- ・塗料の蒸発ロスの低減(保管・管理の徹底)
- ・低VOC塗料の採用

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

組合員を調査対象とした平成22年度のVOCの排出状況は、車体整備市場の需要量の縮小もあり、平成12年度より40.1%削減した。

組合員全体として5年後に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。

(自己評価)

- ・車体整備市場の縮小によるVOCの排出量の減少が大きいと考えられる

○ その他

(注)固形分率(参考)クリアー40%、カラーベース25%、プラサフ65%、硬化剤45%、パテ94%

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

日本粘着テープ工業会

○ 捕捉範囲

■ 業種

(代表的な業種) 18 プラスチック製品製造業(別掲を除く)
粘着テープ製造業

■ 加盟率

約37%(企業数ベース)

■ 捕捉率

約37%(排出量ベース)

○ 主な排出源

■ 乾燥

・粘着テープの粘着剤および剥離剤の塗工、乾燥工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

会員企業及び賛助会員企業(粘着テープ製造企業、剥離紙剥離フィルム製造企業)を対象

■ 対象物質

トルエン、キシレン、酢酸エチル、n-ヘキサン、メチルエチルケトン、その他

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	62,251	59,452	44,700	44,500	46,495	44,856	45,261	42,907	40,414	40,850	28,411
排出量	21,175	12,315	5,090	4,600	4,463	4,334	4,522	3,982	4,048	3,896	2,853
(増減率 ^{※2})	-	(▲42%)	(▲76%)	(▲78%)	(▲79%)	(▲80%)	(▲79%)	(▲81%)	(▲81%)	(▲82%)	(▲87%)
うち法規制対象施設	21,175	12,315	5,090	4,600	4,463	4,334	4,522	3,982	4,048	3,896	2,853
(増減率 ^{※2})	-	(▲42%)	(▲76%)	(▲78%)	(▲79%)	(▲80%)	(▲79%)	(▲81%)	(▲81%)	(▲82%)	(▲87%)
参加企業数	16	16	16	16	16	16	16	16	16	14	10
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	14,745	9,475	3,652	2,745	2,440	2,463	2,304	2,614	2,750	2,775	1,980
(対全国比)	(70%)	(77%)	(72%)	(60%)	(55%)	(57%)	(51%)	(66%)	(68%)	(71%)	(69%)
関東地域 ^{※3}	9,800	6,683	2,317	1,658	1,455	1,435	1,408	1,850	1,891	1,979	1,194
関西地域 ^{※4}	2,215	717	316	261	287	260	259	139	127	299	217
中部地域 ^{※5}	2,730	2,075	1,019	826	698	768	637	625	732	497	569

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量}}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

業界各社から報告頂いた使用量データを集計した。

■ 排出量の推計方法

業界各社から報告頂いた大気への排出量データを集計した。

■ 参加企業数の増減理由

会員企業の減少

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(作業方法の改善等)

有機溶剤を溶媒として使用する粘着剤を熱で溶かすホットメルト型粘着剤や水系エマルジョン粘着剤へ変更を進めた。

(その他の対策)

- ・無溶剤型粘着剤への切り替え
- ・粘着剤の高濃度化(ハイソリッド化)による溶剤の削減(リデュース)
- ・乾燥工程から溶剤回収し再使用(リユース)
- ・回収溶剤の燃焼装置による熱回収(リサイクル)
- ・溶剤回収脱着水の処理

<コスト>

- ・溶剤燃焼装置 約2億円/1基
- ・溶剤回収装置 約3億円/1基

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

溶剤型粘着剤を使用している製品を無溶剤型粘着剤に仕様変更して、有機溶剤の使用量、排出量を減らす。

(自己評価)

平成30年度のVOC使用量、排出量は昨年度に比べて大幅に減少した。これは参加企業数が14社→10社に減少したため10社の使用量、排出量はほぼ横ばいである。粘着テープ全体の生産量が昨年比わずかに増加したものの、有機溶剤を使用、排出する粘着テープの生産はわずかに減少した。使用量、排出量の削減は平成23年比80%に減少しているが、H27年以降ほぼ横ばいで効果ある対策ができていない。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

全国楽器協会

○ 捕捉範囲

■ 業種

(代表的な業種) 32 その他の製造業
その他の製造業(楽器製造業)

■ 加盟率

不明

■ 捕捉率

約90% (出荷額ベース)

○ 主な排出源

■ 塗装

・塗装工程での溶剤

■ 洗浄

・洗浄工程での洗浄剤

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

業界大手企業

■ 対象物質

トルエン・ステレン・キシレン・ジクロロメタンの4物質 (PRTRの対象物質の中より排出量の上位物質)

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	957	-	312	291	274	274	269	236	210	203	203
排出量	240	-	56	55	47	44	43	63	53	53	50
(増減率 ^{※2})	-	-	(▲77%)	(▲77%)	(▲80%)	(▲82%)	(▲82%)	(▲74%)	(▲78%)	(▲78%)	(▲79%)
うち法規制対象施設	4	-	8	7	5	8	5	6	4	8	10
(増減率 ^{※2})	-	-	(+100%)	(+75%)	(+25%)	(+100%)	(+25%)	(+50%)	(+0%)	(+100%)	(+150%)
参加企業数	-	-	-	4	4	4	4	2	2	2	2
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

(当該年度の排出量-12年度の排出量)

※2 増減率(%) = $\frac{\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量}}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

原材料購入量に、対象物質の含有率を掛けて算出。(含有率は原材料のSDSに記載されている値)

■ 排出量の推計方法

以下①②いずれかの方法で算定

①工程における排出量を実測

②用途・使用方法から想定される排出係数を設定し、使用量に掛けて排出量を算定

■ 参加企業数の増減理由

増減なし

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト
(作業方法の改善等)

・塗装塗り直し率の改善による塗料使用量削減等、ハード/ソフト両面での製造方法改善を進めた。

(原材料の転換・削減)
検討

(設備導入・改良等)

・スプレー塗装から型内塗装へ変更する部品数を増やし、スチレン非含有塗料への代替が進んだ。

(その他の対策)

・溶剤回収設備稼働による溶剤回収の継続
・未使用時には蓋をすることを徹底し溶剤の気散防止

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

平成27年度の排出量を超過しないよう、今後5年間取り組んでいく。

(自己評価)

・スプレー塗装から型内塗装への変更により、スチレン非含有塗料への代替が進んだ。

・塗装塗り直し率の改善による塗料使用量削減等、ハード/ソフト両面での製造方法改善取り組みが進み、使用量の削減とそれに伴う大気への排出削減が進んでいる。

・製造工程におけるトリクロロエチレン使用が全廃できた。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 日本釣用品工業会
- 捕捉範囲
 - 業種 (代表的な業種) 32 その他の製造業
その他の製造業
 - 加盟率 90%程度 (製造品出荷ベース)
 - 捕捉率 同上 (同上)
- 主な排出源
 - 洗浄 ・釣針製造の焼き入れ工程
- 除外・すそ切りの考え方
 - 対象企業 会員であって、釣針製造業を営む企業(15社)および団体会員(兵庫県釣針協同組合(38社)、播州釣針協同組合(30社))を対象(83社)。参加は19社
 - 対象物質 ジクロロメタン

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	110	80	69	63	66	70	70	70	70	66	64
(増減率 ^{※2})	-	(▲27%)	(▲37%)	(▲43%)	(▲40%)	(▲36%)	(▲36%)	(▲36%)	(▲36%)	(▲40%)	(▲42%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	-	19	19	19	19	19	19	19	19
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

■ 参加企業数の増減理由

- 排出抑制に貢献する対策等
 - 対策及びその効果、コスト
(その他の対策)
 - ・洗浄設備の改善、導入
 - ・洗浄工程の効率化
 - ・代替物質の使用
 - ・代替洗浄技術

- 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

VOCの排出量の目標数値の設定は各社の自主判断とするが、5年後のジクロロメタンの排出量が今年度の値を上回らないように、各社が作業環境の改善に取り組んでいく。

(自己評価)

① 密閉型の洗浄設備、及びジクロロメタン再生設備を導入し、回収率を高め、大気排出量を抑制する。② 前工程の見直しにより、洗浄工程での洗浄液使用料の削減を検討する。③ ジクロロメタンに代わるリサイクル性の高い代替洗浄液への移行を検討する。以上より、VOCの排出抑制に向けて努力を進める。

- その他

釣針製造大手企業へのヒアリングを行ったところ、規模が小さく塗装、洗浄など裾切り基準以下である事から、法規制対象施設を区分した調査は実施していない。

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

日本金属ハウスウェア工業組合

○ 捕捉範囲

■ 業種

(代表的な業種) 24 金属製品製造業
金属ハウスウェア製造業

■ 加盟率

100% (会員企業ベース)

■ 捕捉率

同上 (同上)

○ 主な排出源

■ 洗浄

・脱脂洗浄工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

対象企業55社(100%)

■ 対象物質

トリクロロエチレン

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	489	-	302	270	262	260	210	200	199	199	199
(増減率 ^{※2})	-	-	(▲38%)	(▲45%)	(▲46%)	(▲47%)	(▲57%)	(▲59%)	(▲59%)	(▲59%)	(▲59%)
うち法規制対象施設	-	-	40	40	40	40	39	39	38	38	38
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	-	51	51	51	50	50	49	49	49
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

排出量 = 使用量 - 吸着回収量

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(作業方法の改善等)

代替物質として臭素を導入検討

(その他の対策)

- ①未使用時における暴露軽減のために密閉用の蓋を設置するなど大気中の暴露対策(作業現場の公害防止策含む)実施
②トリクロロエチレン回収装置の推奨 ③洗浄対象物の臭素洗浄への移行の検討(2社が実質的な取組みを実施中)④トリクロロエチレンに代わる代替品の研究

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

当業界の自主的取組において、全体として5年後に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。

(自己評価)

当組合の組合員が製造している家庭用・業務用金属ハウスウェア製品群の洗浄工程では、当該物質の排出量は減少している。しかし、食品並びに化学プラント関係の大型タンク(配管設備含む)類を製造している組合員では、国内における設備投資等が改善傾向にあり当該物質の使用量並びに排出量の減少が鈍化傾向にある。今後も従事者の健康管理を含みながら洗浄関係団体の指導を受け、より具体的な取組みを行ないたい。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 日本金属洋食器工業組合
- 捕捉範囲
 - 業種 (代表的な業種) 24 金属製品製造業
金属洋食器製造業
 - 加盟率 90%
 - 捕捉率 同上
- 主な排出源
 - 洗浄 ・金属洋食器の研磨後の洗浄
- 除外・すそ切りの考え方
 - 対象企業 組合員中、アンケート回答があった会員を対象
 - 対象物質 トリクロロエチレン

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	201	-	33	29	28	28	28	27	26	25	25
(増減率 ^{※2})	-	-	(▲84%)	(▲86%)	(▲86%)	(▲86%)	(▲86%)	(▲87%)	(▲87%)	(▲88%)	(▲88%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	-	8	-	-	-	-	40	39	38
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量}}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

前年度からの生産数量約5%の減少

■ 排出量の推計方法

■ 参加企業数の増減理由

廃業による

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(設備導入・改良等)

密閉度の高い新洗浄装置の導入

洗浄温度や洗浄時間を調整することによる大気への揮発を少しでも現象させる

(その他の対策)

・回収装置の検討

・トリクロロエチレンに変わる代替品の研究

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

業界全体として5年後に平成22年度比で悪化しないように取り組む。

(自己評価)

洗浄設備装置の改善により当該物質の排出量は、設備の検討も含めて抑制されてきているが、代替品については、いろいろと試行しているが当該物質に代わるものは、まだ無い。今後は新潟県や燕市の行政関係、溶剤関係業者や洗浄措置設備業者などの指導を受けながら取り組みたい。

○ その他

法的対象施設として該当するものがないため、記載なし。

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

日本ガス石油機器工業会

○ 捕捉範囲

■ 業種

(代表的な業種) 24 金属製品製造業
ガス・石油機器及び関連部品の製造業

■ 加盟率

不明

■ 捕捉率

80% (会社数ベースの補足率であるが、未回答会社はVOCを排出していないか排出量が極僅少の会社であり、VOC排出量としての補足率は100%に近いと考える。)

○ 主な排出源

■ 塗装

・塗装工程

■ 洗浄

・脱脂洗浄工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

工業会の全会員会社

■ 対象物質

塗装工程及び脱脂洗浄工程から排出されるVOCの総量

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	765	-	519	588	529	560	504	364	361	374	432
(増減率 ^{※2})	-	-	(▲33%)	(▲23%)	(▲31%)	(▲27%)	(▲34%)	(▲52%)	(▲53%)	(▲51%)	(▲44%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	-	80	78	88	85	87	78	73	72
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	-	-	148	168	167	200	152	160	163	170	192
(対全国比)	-	-	(29%)	(29%)	(32%)	(36%)	(30%)	(44%)	(45%)	(46%)	(44%)
関東地域 ^{※3}	-	-	21	31	26	47	41	35	38	38	38
関西地域 ^{※4}	-	-	36	27	25	25	23	21	24	25	23
中部地域 ^{※5}	-	-	91	110	116	129	88	104	101	108	131

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

(当該年度の排出量-12年度の排出量)

※2 増減率(%) = $\frac{\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量}}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

(該当なし)

■ 排出量の推計方法

次の量の合計をVOC排出量とした。

- ・ 塗装工程で使用した有機溶剤等の使用量にVOCの含有率及び排出係数を乗じた量
- ・ 脱脂洗浄工程で使用した脱脂洗浄剤の使用量に排出係数を乗じた量

■ 参加企業数の増減理由

会員会社数が90社、回答会社数が72社であり、昨年比で会員会社数が1社増加したが、回答会社数が1社減少しており、未回答会社の若干の増加により参加企業数としては昨年と比べて減少となったが、これらの未回答会社はいずれもVOCを排出していな

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(作業方法の改善等)

- ・受注生産に対応した塗装工程の運営により総塗装量を削減
- ・洗浄にジクロロメタンを使用していたノズルを使い捨てにすることで洗浄作業を廃止
- ・作業改善によって塗装工程の一部をなくして使用塗料を削減 ほか

(原材料の転換・削減)

- ・塗料・シンナー変更によるトルエン・キシレンの低減
- ・環境負荷の少ない洗浄剤への変更
- ・ジクロロメタンでの洗浄をアルカリ電解水による洗浄に変更 ほか

(設備導入・改良等)

- ・塗装方法を手吹きからロボットに変更し吹き付けプロセスを改善
- ・イソプロピルアルコール洗浄装置の密閉性向上
- ・粉体塗装設備導入により一部有機溶剤塗装を粉体塗装に変更 ほか

(その他の対策)

- ・製品の小型化による使用量削減 ほか

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

- ・平成22年度比で悪化しないように取り組む。(定量目標は掲げず、増産等の影響による変動は是認を前提とする。)

(自己評価)

平成30年度の排出量(432トン)は、基準年度[平成12年度(765トン)]比で44%減、新たな取組みの目指すべき方向性として掲げた平成22年度(513トン)比で16%減となり、VOC排出量が昨年度を上回る結果となったが、長期的にはVOC排出量削減への各社の継続的な取組みには効果が出ていると評価する。

今後も、新たな取組みの目指すべき方向性として掲げた平成22年度比で悪化しないように取り組んでいきたい。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 全国石油商業組合連合会
- 捕捉範囲
 - 業種 (代表的な業種) 60 その他の小売業
揮発油販売業
 - 加盟率 98.4% (揮発油販売業のうち揮発油販売業者の加盟率)
 - 捕捉率 100% (石油連盟による販売数量(全国の販売量の100%)で排出量を捕捉)
- 主な排出源
 - 荷下ろし ・荷下ろし時(石油製品貯蔵タンク)
 - 給油 ・給油時(計量機)
- 除外・すそ切りの考え方
 - 対象企業 全国石油商業組合連合会の全会員
 - 対象物質 荷下ろし時(ステージ1)及び給油時(ステージ2)に排出されるVOCの総量

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	120,563	-	-	-	-	-	-	-	99,959	95,848	94,333
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	(▲17%)	(▲20%)	(▲22%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	-	-	-	-	-	-	14,730	14,381	14,002
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	46,767	-	-	-	-	-	-	-	36,041	33,381	32,716
(対全国比)	(39%)	-	-	-	-	-	-	-	(36%)	(35%)	(35%)
関東地域 ^{※3}	25,938	-	-	-	-	-	-	-	20,942	19,137	18,547
関西地域 ^{※4}	9,608	-	-	-	-	-	-	-	7,596	7,174	7,065
中部地域 ^{※5}	11,221	-	-	-	-	-	-	-	7,503	7,070	7,104

※1 使用量は、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

- (1) 排出量は、給油時、荷卸し時ともに、原則として「石油連盟統計・都道府県別年間販売実績」×「排出係数」によって算定する。
- (2) 排出係数については、第30回揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会(平成28年3月15日開催)資料2-1/P7表6「給油所における排出量推計結果(平成26年度排出量)」の「見直し後の推計方法」の数値とし、今後、同検討会における議論の結果、当該排出量及び推計方法が変更となった場合には、変更後の数値等を使用することとする。
- (3) 計量機メーカー等の協力を得て、年度毎のステージ2対応機器の導入台数等を集約し、SS固有データ(所在地、ガソリン販売量等)などによりVOC削減量を定量化し、進捗状況を把握するとともに、(1)の排出係数に反映させる。

■ 参加企業数の増減理由

主に、廃業による脱退。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(設備導入・改良等)

- ・荷卸し時に排出されるVOCを回収する機器(ステージ1対応機)の導入
- ・給油時に排出されるVOCを回収する機器(ステージ2対応機)の導入

(その他の対策)

各種会議等でVOC回収機器のパンフレットを配布し、計量機更新時に当該機器類の導入を検討するよう要請した。

また、機関紙「ぜんせき」を活用して、組合員に「大気環境配慮型SS認定制度(e→AS)」の制度内容を周知した。

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

H12年度の排出量を基準とし、R6年度までにガソリンスタンドから排出されるVOC排出量を基準年度比3割削減することを目指す。

(自己評価)

ペーパー回収型計量機等の導入が、平成30年度は前年度比で約14%増となり、VOC排出量の削減が着実に進んでいる。今後も引き続き、組合員への啓発を続けていきたい。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

産業環境管理協会

○ 捕捉範囲

■ 業種

(代表的な業種) 99 分類不能の産業
参加企業数が極めて少ないため、個別企業の属性に関する情報の開示は控える

■ 加盟率

0%

■ 捕捉率

0%

○ 主な排出源

・参加企業数が極めて少ないため、個別企業の属性に関する情報の開示は控える。

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

排出量報告を行っている業界団体に、所属していない企業

■ 対象物質

全VOC

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】	【26年度】	【27年度】	【28年度】	【29年度】	【30年度】
■ 全国											
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	2,600	2,600	1,666	1,784	1,576	1,578	1,417	1,299	1,050	765	734
(増減率 ^{※2})	-	(+0%)	(▲36%)	(▲31%)	(▲39%)	(▲39%)	(▲46%)	(▲50%)	(▲60%)	(▲71%)	(▲72%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	-	30	25	24	24	23	23	20	20
(参考)地域別排出量											
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

- ・PRTR大気排出量
- ・VOC製品の取扱量と有機溶剤比率から大気排出量を求めたもの

■ 参加企業数の増減理由

20社より報告。昨年より3社減。1社は連絡が取れず、おそらく倒産と思われる。2社よりVOC取り組み支援ボードへの参加辞退の申し入れがあった。理由は十分にVOC対策ができ、排出量が少量であるため。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(作業方法の改善等)

1. 溶剤回収装置のフィルター交換等の回収効率向上改善
2. 蓋設置、業務終了時蓋励行 3. 静電スプレーの使用

(原材料の転換・削減)

低VOC製品への代替、水性インクの使用拡大、塗料のハイソリッド化

(設備導入・改良等)

除去設備の設置

■ 自己評価

(取組の目指すべき方向性)

当協会は特定業種を代表しているわけではなく、自主的取組を行っているが業界団体の自主行動計画に参加していない企業の「排出量報告の受け皿」や、自主的取組を実施したいと考える企業に対する支援を目的に、「VOC自主的取組支援ボード」を運営している。

このため、自主的取組支援団体として、前年度より排出量が増加しないよう又創意工夫により排出抑制に継続的に取組よう、支援ボード参加企業に呼びかけていく。

(自己評価)

H28年より水溶性接着剤へ切り替えたことで排出量が減少、生産は増加したが、塗装不良の削減で排出量前年度より低下させることができたとの企業努力による削減の報告があった。また、建設業界で粉体塗装の使用が進んでいないとの報告があった。3社が提出辞退となったが、昨年度の3社が占める排出量割合は全体の0.08%であり、極めて低い。そのため、昨年の排出量1050トンに比べ本年度は27%削減された。

○ その他

産業環境管理協会は、業界団体に属さない企業の自主的取組を支援するため、平成19年10月に「VOC自主的取組支援ボード」を開設した。このため、当協会は特定業種を代表しているわけではなく、広くVOCを排出している企業に対する「排出量報告の受け皿」と「助言・情報提供」を目的に、支援ボードを運営している。

また、支援ボード参加の条件として、公表を前提として報告する情報を除き、個別企業の情報に関する一切守秘されることとしているため、排出量の集計値以外は公表することができない。

VOC排出抑制に係る自主的取組のフォローアップについて
平成30年度実績（物質別排出量）

1 日本ガス協会	96	20 軽金属製品協会	115
2 日本染色協会	97	21 日本プラスチック工業連盟	116
3 日本製紙連合会	98	22 日本オフィス家具協会	117
4 日本鉄鋼連盟	99	23 日本表面処理機材工業会	118
5 電機・電子4団体	100	24 日本自動車車体工業会	119
6 日本塗料工業会	101	25 日本接着剤工業会	120
7 日本自動車部品工業会	102	26 プレハブ建築協会	121
8 日本自動車工業会	103	27 印刷インキ工業連合会	122
9 線材製品協会	104	28 日本工業塗装協同組合連合会	123
10 日本伸銅協会	105	29 日本ゴム工業会	124
11 全国鍍金工業組合連合会	106	30 日本自動車車体整備協同組合連合会	125
12 日本電線工業会	107	31 日本粘着テープ工業会	126
13 日本アルミニウム協会	108	32 全国楽器協会	127
14 日本建材・住宅設備産業協会	109	33 日本釣用品工業会	128
15 天然ガス鉱業会	110	34 日本金属ハウスウェア工業組合	129
16 石油連盟	111	35 日本金属洋食器工業組合	130
17 日本化学工業協会	112	36 日本ガス石油機器工業会	131
18 日本印刷産業連合会	113	37 全国石油商業組合連合会	132
19 ドラム缶工業会	114	その他（産業環境管理協会）	133

物質別VOC排出量

団体名: 日本ガス協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																						
-	炭化水素類	87	100%	27	100%	0		0		0		0		0		0		0		0		0	
-	酢酸エチル																						
-	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
-	イソプロピルアルコール																						
-	メチルアルコール(メタノール)																						
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																						
-	アセトン																						
392	ノルマルヘキサン																						
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エチルエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセート)																						
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他																						
-	物質別データなし																						
	合計	87	100%	27	100%	0		0		0		0		0		0		0		0		0	

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本染色協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	2,648	31%	2,036	29%	825	27%	654	24%	414	20%	464	26%	491	31%	401	25%	389	29%	541	34%	461	31%
-	炭化水素類																						
-	酢酸エチル	165	2%	149	2%	95	3%	484	18%	282	14%	197	11%	80	5%	78	5%	63	5%	92	6%	31	2%
-	メチルエチルケトン	1,446	17%	1,416	20%	697	23%	377	14%	176	8%	197	11%	193	12%	304	19%	171	13%	187	12%	191	13%
80	キシレン	228	3%	130	2%	75	2%	52	2%	57	3%	57	3%	32	2%	29	2%	26	2%	28	2%	23	2%
-	イソプロピルアルコール	351	4%	359	5%	316	10%	335	12%	513	25%	307	17%	285	18%	289	18%	226	17%	249	15%	262	17%
-	メチルアルコール(メタノール)																						
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																						
-	アセトン																						
392	ノルマルヘキサン																						
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド	1,104	13%	944	13%	258	8%	160	6%	93	4%	100	6%	105	7%	86	5%	86	6%	90	6%	92	6%
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	45	1%	42	1%	29	1%	35	1%	32	2%	31	2%	22	1%	20	1%	23	2%	23	1%	25	2%
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ	185	2%	225	3%	2	0%	2	0%	1	0%	5	0%	4	0%	5	0%	7	1%	31	2%	60	4%
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール	58	1%	71	1%	26	1%	7	0%	4	0%	7	0%	10	1%	15	1%	8	1%	7	0%	10	1%
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセテート)																						
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他	2,328	27%	1,746	25%	720	24%	621	23%	500	24%	437	24%	359	23%	370	23%	356	26%	364	23%	351	23%
-	物質別データなし																						
	合計	8,558	100%	7,118	100%	3,043	100%	2,727	100%	2,072	100%	1,802	100%	1,581	100%	1,597	100%	1,355	100%	1,612	100%	1,506	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本製紙連合会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																						
-	炭化水素類																						
-	酢酸エチル																						
-	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
-	イソプロピルアルコール																						
-	メチルアルコール(メタノール)																						
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																						
-	アセトン																						
392	ノルマルヘキサン																						
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エチルエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセート)																						
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他																						
-	物質別データなし	9,534	100%	3,816	100%	1,313	100%	1,316	100%	1,206	100%	1,225	100%	1,270	100%	1,244	100%	1,261	100%	1,215	100%	1,178	100%
	合計	9,534	100%	3,815	100%	1,313	100%	1,315	100%	1,207	100%	1,225	100%	1,270	100%	1,244	100%	1,261	100%	1,215	100%	1,178	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本鉄鋼連盟

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																						
-	炭化水素類																						
-	酢酸エチル																						
-	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
-	イソプロピルアルコール																						
-	メチルアルコール(メタノール)																						
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																						
-	アセトン																						
392	ノルマルヘキサン																						
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセート)																						
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他																						
-	物質別データなし	6,992	100%	4,518	100%	3,043	100%	2,777	100%	2,365	100%	2,252	100%	2,392	100%	2,176	100%	2,112	100%	2,121	100%	2,177	100%
	合計	6,992	100%	4,518	100%	3,043	100%	2,777	100%	2,365	100%	2,252	100%	2,392	100%	2,176	100%	2,112	100%	2,121	100%	2,177	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 電機・電子4団体

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																						
-	炭化水素類																						
-	酢酸エチル																						
-	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
-	イソプロピルアルコール																						
-	メチルアルコール(メタノール)																						
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																						
-	アセトン																						
392	ノルマルヘキサン																						
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エチルエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセート)																						
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他																						
-	物質別データなし	24,984	100%	18,018	100%	11,024	100%	10,373	100%	8,610	100%	7,977	100%	7,988	100%	7,760	100%	7,635	100%	8,396	100%	8,473	100%
	合計	24,984	100%	18,018	100%	11,024	100%	10,373	100%	8,610	100%	7,977	100%	7,988	100%	7,760	100%	7,635	100%	8,396	100%	8,473	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本塗料工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	952	24%	585	19%	371	16%	332	15%	337	16%	315	15%	308	15%	319	15%	313	15%	310	15%	320	14%
-	炭化水素類																						
-	酢酸エチル	169	4%	152	5%	184	8%	196	9%	170	8%	178	8%	170	8%	184	9%	190	9%	216	10%	206	9%
-	メチルエチルケトン	95	2%	123	4%	83	4%	56	2%	56	3%	63	3%	70	3%	69	3%	71	3%	84	4%	80	4%
80	キシレン	433	11%	371	12%	234	10%	249	11%	235	11%	219	10%	217	11%	225	11%	214	10%	210	10%	221	10%
-	イソプロピルアルコール	81	2%	87	3%	77	3%	73	3%	74	3%	70	3%	93	5%	88	4%	83	4%	96	5%	91	4%
-	メチルアルコール(メタノール)																						
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																						
-	アセトン																						
392	ノルマル-ヘキサン																						
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン	244	6%	172	6%	151	7%	155	7%	156	7%	147	7%	152	7%	156	7%	146	7%	145	7%	158	7%
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール	65	2%	70	2%	57	2%	47	2%	45	2%	45	2%	43	2%	43	2%	43	2%	49	2%	51	2%
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン	78	2%	79	3%	67	3%	67	3%	47	2%	51	2%	51	2%	49	2%	50	2%	50	2%	50	2%
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセート)																						
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他	1,830	46%	1,422	46%	1,094	47%	1,080	48%	1,041	48%	1,007	48%	957	46%	1,000	47%	1,003	47%	969	46%	1,059	47%
-	物質別データなし																						
	合計	3,947	100%	3,061	100%	2,318	100%	2,255	100%	2,161	100%	2,095	100%	2,061	100%	2,133	100%	2,113	100%	2,129	100%	2,236	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本自動車部品工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	6,704	30%	5,227	29%	3,192	34%	2,456	29%	1,709	20%	2,080	26%	1,639	22%	1,551	22%	1,491	21%	779	16%	996	18%
-	炭化水素類																						
-	酢酸エチル																						
-	メチルエチルケトン	1,737	8%	1,706	9%	738	8%	661	8%	629	7%	566	7%	707	10%	576	8%	689	10%	519	11%	371	7%
80	キシレン	2,390	11%	2,625	14%	1,168	12%	1,208	14%	940	11%	776	10%	1,072	14%	676	10%	650	9%	323	7%	460	8%
-	イソプロピルアルコール																						
-	メチルアルコール(メタノール)	1,935	9%	1,545	9%	690	7%	430	5%	794	9%	616	8%	614	8%	595	9%	776	11%	523	11%	279	5%
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	3,058	13%	1,302	7%	199	2%	168	2%	124	1%	74	1%	128	2%	122	2%	131	2%	123	3%	107	2%
-	アセトン	1,403	6%	293	2%	106	1%	116	1%	147	2%	45	1%	58	1%	37	1%	129	2%	34	1%	141	3%
392	ノルマルヘキサン																						
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセート)																						
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他	5,498	24%	5,425	30%	3,401	36%	3,494	41%	4,044	48%	3,785	48%	3,194	43%	3,348	48%	3,187	45%	2,438	52%	3,059	57%
-	物質別データなし																						
	合計	22,725	100%	18,121	100%	9,493	100%	8,533	100%	8,387	100%	7,942	100%	7,412	100%	6,905	100%	7,054	100%	4,733	100%	5,412	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本自動車工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	6,127	12%	4,189	10%	2,357	9%	2,209	9%	2,416	10%	2,220	9%	2,172	9%	2,062	9%	2,056	9%	2,424	10%	2,314	10%
-	炭化水素類																						
-	酢酸エチル																						
-	メチルエチルケトン																						
80	キシレン	11,086	21%	5,142	12%	2,556	10%	2,506	10%	2,783	11%	2,799	11%	2,649	11%	2,375	11%	2,387	10%	2,693	11%	2,444	10%
-	イソプロピルアルコール																						
-	メチルアルコール(メタノール)																						
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																						
-	アセトン																						
392	ノルマルヘキサン											13	0%	13	0%	11	0%	12	0%	14	0%	13	0%
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン	1,991	4%	1,978	5%	1,649	6%	1,607	6%	1,731	7%	1,900	8%	1,848	8%	1,701	8%	1,723	7%	1,893	8%	2,129	9%
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	344	1%	614	1%	367	1%	383	2%	365	2%	423	2%	419	2%	365	2%	362	2%	462	2%	451	2%
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン											1	0%	1	0%	1	0%	1	0%	1	0%	1	0%
240	スチレン											1	0%	1	0%	2	0%	1	0%	2	0%	2	0%
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)												59	0%	47	0%			41	0%	24	0%	
83	クメン(イソプロピルベンゼン)											18	0%	19	0%	14	0%	30	0%	41	0%	38	0%
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテル)											33	0%	32	0%	28	0%	26	0%	29	0%	29	0%
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他					662	3%	717	3%	584	2%	781	3%	817	3%	699	3%	836	4%	991	4%	1,110	5%
-	物質別データなし																						
	合計	52,685	100%	41,199	100%	25,623	100%	24,921	100%	24,224	100%	25,106	100%	23,848	100%	22,169	100%	23,367	100%	24,835	100%	24,254	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名:線材製品協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	68	5%	73	8%	50	17%	50	21%	53	22%	48	21%	46	21%	44	23%	45	24%	42	21%	39	20%
-	炭化水素類																						
-	酢酸エチル	96	7%	21	2%	18	6%	23	9%	27	11%	32	14%	26	11%	12	6%	9	4%	8	4%	8	4%
-	メチルエチルケトン	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
80	キシレン	7	1%	17	2%	6	2%	7	3%	3	1%	7	3%	3	2%	4	2%	4	2%	4	2%	5	2%
-	イソプロピルアルコール	1	0%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
-	メチルアルコール(メタノール)																						
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	420	33%	430	48%	86	30%	73	30%	66	28%	47	20%	62	28%	57	30%	64	33%	80	40%	90	46%
-	アセトン	45	3%	38	4%	16	5%	13	5%	22	9%	21	9%	25	11%	19	10%	18	9%	17	8%	13	7%
392	ノルマル-ヘキサン																						
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン	153	12%	78	9%	11	4%	11	5%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	15	1%	13	1%	4	1%	3	1%	3	1%	2	1%	2	1%	3	2%	3	1%	4	2%	3	1%
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン	485	38%	223	25%	100	34%	62	26%	64	27%	73	32%	59	26%	52	27%	50	26%	47	23%	41	21%
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他																						
-	物質別データなし																						
	合計	1,291	100%	894	100%	291	100%	241	100%	238	100%	231	100%	223	100%	191	100%	192	100%	201	100%	198	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本伸銅協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	318	73%	178	97%	86	98%	81	97%	79	96%	82	95%	69	97%	55	88%	64	88%	57	97%	63	87%
-	炭化水素類																						
-	酢酸エチル													0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
-	メチルエチルケトン													0	0%								
80	キシレン	17	4%	3	2%	2	2%	2	3%	3	3%	3	4%	2	3%	2	4%	3	3%	3	5%	3	4%
-	イソプロピルアルコール													0	1%	1	1%	1	2%	1	2%	1	2%
-	メチルアルコール(メタノール)													2	3%	2	3%	2	3%	2	3%	1	1%
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	100	23%	2	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%								
-	アセトン													0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
392	ノルマル-ヘキサン																						
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	1	0%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%	0	1%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル													0	0%								
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																0	0%				0	0%
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	3	4%			4	5%
-	物質別データなし																						
	合計	436	100%	184	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%	72	100%	63	100%	72	100%	59	100%	72	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 全国鍍金工業組合連合会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																						
-	炭化水素類																						
-	酢酸エチル																						
-	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
-	イソプロピルアルコール																						
-	メチルアルコール(メタノール)																						
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	392	29%	280	28%	220	26%	200	26%	210	28%	195	27%	203	28%	195	27%	185	26%	176	26%	173	26%
-	アセトン																						
392	ノルマルヘキサン																						
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン	964	71%	712	72%	626	74%	561	74%	550	72%	535	73%	522	72%	523	73%	518	74%	492	74%	482	74%
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート)																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他																						
-	物質別データなし																						
	合計	1,356	100%	992	100%	846	100%	761	100%	760	100%	730	100%	725	100%	718	100%	703	100%	668	100%	655	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本電線工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	126	9%	60	6%	45	6%	41	6%	36	6%	48	8%	35	6%	23	4%	29	5%	26	4%	20	4%
-	炭化水素類																						
-	酢酸エチル																						
-	メチルエチルケトン	44	3%	45	4%	41	6%	33	5%	32	6%	34	5%	32	5%	29	5%	19	3%	19	3%	15	3%
80	キシレン	138	10%	57	6%	61	9%	55	9%	55	10%	45	7%	45	8%	36	6%	33	5%	34	5%	26	5%
-	イソプロピルアルコール	234	16%	375	37%	181	26%	161	26%	143	25%	161	26%	136	23%	113	20%	152	25%	166	26%	159	29%
-	メチルアルコール(メタノール)	68	5%	46	5%	65	9%	64	10%	50	9%	62	10%	55	9%	60	10%	58	10%	59	9%	44	8%
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	35	2%	2	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
-	アセトン	175	12%	111	11%	95	13%	81	13%	65	11%	61	10%	63	11%	65	11%	64	11%	83	13%	62	11%
392	ノルマル-ヘキサン																						
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド	73	5%	40	4%	31	4%	22	3%	21	4%	21	3%	16	3%	13	2%	9	1%	8	1%	7	1%
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール	269	19%	71	7%	23	3%	26	4%	25	4%	30	5%	33	6%	40	7%	28	5%	30	5%	24	4%
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール	107	7%	41	4%	30	4%	27	4%	30	5%	31	5%	37	6%	40	7%	33	6%	32	5%	24	4%
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセート)																						
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他	170	12%	165	16%	135	19%	122	19%	118	21%	126	20%	139	24%	154	27%	179	30%	177	28%	161	30%
-	物質別データなし																						
	合計	1,439	100%	1,013	100%	707	100%	631	100%	575	100%	619	100%	591	100%	573	100%	604	100%	633	100%	543	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本アルミニウム協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																						
-	炭化水素類																						
-	酢酸エチル																						
-	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
-	イソプロピルアルコール																						
-	メチルアルコール(メタノール)																						
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																						
-	アセトン																						
392	ノルマルヘキサン																						
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセテート)																						
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他																						
-	物質別データなし	1,900	100%	569	100%	348	100%	324	100%	327	100%	289	100%	338	100%	285	100%	272	91%	292	100%	277	100%
	合計	1,900	100%	569	100%	348	100%	324	100%	327	100%	289	100%	338	100%	285	100%	301	100%	292	100%	277	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本建材・住宅設備産業協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	4,419	55%	3,645	60%	1,257	57%	983	51%	812	49%	883	49%	891	48%	741	48%	594	46%	551	47%	479	48%
-	炭化水素類																						
-	酢酸エチル																						
-	メチルエチルケトン																						
80	キシレン	2,256	28%	1,528	25%	594	27%	614	32%	531	32%	556	31%	599	33%	513	33%	457	35%	406	35%	326	33%
-	イソプロピルアルコール																						
-	メチルアルコール(メタノール)																						
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	771	10%	240	4%	69	3%	67	3%	71	4%	80	4%	67	4%	62	4%	56	4%	59	5%	41	4%
-	アセトン																						
392	ノルマル-ヘキサン																						
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン	449	6%	524	9%	239	11%	214	11%	198	12%	217	12%	233	13%	184	12%	134	10%	114	10%	102	10%
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセート)																						
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他	136	2%	122	2%	49	2%	44	2%	45	3%	51	3%	52	3%	48	3%	52	4%	45	4%	45	5%
-	物質別データなし																						
	合計	8,031	100%	6,059	100%	2,208	100%	1,922	100%	1,657	100%	1,787	100%	1,842	100%	1,548	100%	1,293	100%	1,174	100%	993	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名:天然ガス鉱業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																						
-	炭化水素類	2,603	100%	1,665	100%	3,095	100%	1,278	100%	1,105	102%	1,028	100%	1,155	100%	878	100%	871	100%	1,839	100%	1,656	100%
-	酢酸エチル																						
-	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
-	イソプロピルアルコール																						
-	メチルアルコール(メタノール)																						
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																						
-	アセトン																						
392	ノルマルヘキサン																						
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセテート)																						
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他																						
-	物質別データなし																						
	合計	2,603	100%	1,665	100%	3,095	100%	1,278	100%	1,082	100%	1,028	100%	1,155	100%	878	100%	871	100%	1,839	100%	1,656	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名:石油連盟

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																						
-	炭化水素類	61,426	100%	54,859	100%	42,551	100%	41,853	100%	39,229	100%	39,373	100%	37,273	100%	37,287	100%	36,894	100%	35,246	100%	33,259	100%
-	酢酸エチル																						
-	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
-	イソプロピルアルコール																						
-	メチルアルコール(メタノール)																						
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																						
-	アセトン																						
392	ノルマル-ヘキサン																						
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エトキシエチル(エチングリコールモノエチルエーテルアセテート)																						
58	エチングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他																						
-	物質別データなし																						
	合計	61,426	100%	54,859	100%	42,551	100%	41,853	100%	39,229	100%	39,373	100%	37,273	100%	37,287	100%	36,894	100%	35,246	100%	33,259	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本化学工業協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】		
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	
300	トルエン	6,435	7%	3,447	7%	2,821	9%	2,415	8%	1,718	6%	1,986	6%	2,197	7%	2,352	8%	2,025	8%	1,806	7%	1,852	7%	
-	炭化水素類	7,165	8%	6,146	12%	4,560	14%	4,162	14%	6,428	21%	6,125	20%	6,184	20%	5,701	20%	5,853	23%	5,745	22%	5,821	22%	
-	酢酸エチル	1,664	2%	1,100	2%	1,102	3%			977	3%	991	3%	847	3%	871	3%	668	3%	727	3%	723	3%	
-	メチルエチルケトン	4,307	5%	1,427	3%	820	3%	641	2%	586	2%	581	2%	612	2%	557	2%	466	2%	519	2%	536	2%	
80	キシレン	1,730	2%	685	1%	241	1%			197	1%	263	1%	243	1%	254	1%	181	1%	218	1%	274	1%	
-	インプロピルアルコール																							
-	メチルアルコール(メタノール)	11,089	12%	6,732	13%	4,790	15%	4,685	16%	4,540	15%	4,939	16%	4,702	16%	4,028	14%	2,935	11%	3,651	14%	3,414	13%	
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	5,530	6%	3,026	6%	725	2%	819	3%	983	3%	765	2%	693	2%	620	2%	544	2%	910	3%	862	3%	
-	アセトン	6,972	8%	5,028	10%	3,770	12%	3,560	12%	3,277	11%	3,188	10%	3,212	11%	3,000	10%	2,785	11%	2,455	9%	2,155	8%	
392	ノルマルヘキサン	7,627	9%	6,744	13%	3,290	10%	2,583	9%	2,217	7%	2,369	8%	2,287	8%	2,061	7%	1,772	7%	2,190	8%	2,397	9%	
-	シクロヘキサン	4,116	5%	2,715	5%	1,516	5%	1,477	5%	1,213	4%	912	3%	994	3%	1,392	5%	1,218	5%	1,313	5%	1,120	4%	
53	エチルベンゼン																			152	1%	153	1%	
128	クロロメタン(塩化メチル)	3,371	4%	576	1%	263	1%	168	1%	1,374	4%	1,530	5%	1,368	5%	1,099	4%	665	3%	751	3%	801	3%	
232	N,N-ジメチルホルムアミド	2,038	2%	189	0%	149	0%			173	1%	164	1%	157	1%	162	1%	160	1%	149	1%	146	1%	
318	二硫化炭素	2,073	2%	2,883	6%	1,966	6%	2,140	7%	1,797	6%	1,839	6%	1,416	5%	1,440	5%	1,359	5%	1,139	4%	1,760	7%	
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)	1,879	2%	31	0%	15	0%			13	0%	13	0%	14	0%	22	0%	27	0%	26	0%	29	0%	
281	トリクロロエチレン																						14	0%
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	1,197	1%	191	0%	7	0%			4	0%	6	0%	5	0%	5	0%	3	0%			3	0%	
134	酢酸ビニル	1,608	2%	1,032	2%	582	2%			485	2%	464	1%	495	2%	407	1%	386	2%	344	1%	298	1%	
400	ベンゼン	1,561	2%	323	1%	212	1%			178	1%	196	1%	131	0%	119	0%	99	0%	106	0%	108	0%	
240	スチレン	1,330	1%	638	1%	270	1%			230	1%	236	1%	233	1%	204	1%	149	1%	164	1%	152	1%	
-	プロピルアルコール	1,311	1%	1,109	2%	651	2%			435	1%	354	1%	343	1%	186	1%	245	1%	226	1%	259	1%	
157	1,2-ジクロロエタン	1,157	1%	204	0%	148	0%			102	0%	124	0%	97	0%	91	0%	111	0%	90	0%	93	0%	
94	クロロエチレン(塩化ビニル)	1,072	1%	204	0%	154	0%			132	0%	119	0%	105	0%	126	0%	117	0%	100	0%	124	0%	
83	クメン(イソプロピルベンゼン)	897	1%	237	0%	191	1%			129	0%	172	1%	186	1%	185	1%	79	0%	96	0%	75	0%	
-	クロロエタン	826	1%	93	0%	55	0%			87	0%	75	0%	71	0%	93	0%	107	0%	90	0%	59	0%	
262	テトラクロロエチレン																						7	0%
86	クレゾール																						1	0%
-	ブタノール																						120	0%
-	ブチルセソソルブ																							
349	フェノール																						9	0%
-	メチルイソブチルケトン																							
-	イソブタノール																							
-	酢酸ブチル																						72	0%
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセート)																						0	0%
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル																						6	0%
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						0	0%
-	その他	11,854	13%	5,799	11%	4,364	13%	7,212	24%	3,547	12%	3,598	12%	3,578	12%	3,621	13%	3,599	14%	3,288	13%	2,595	10%	
-	物質別データなし			131	0%																			
合計		88,809	100%	50,690	100%	32,662	100%	29,862	100%	30,822	100%	31,009	100%	30,169	100%	28,596	100%	25,554	100%	26,106	100%	26,038	100%	

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本印刷産業連合会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	36,860	32%	19,900	26%	8,200	19%	6,800	19%	5,600	16%	6,000	17%	4,700	17%	3,800	16%	4,400	16%	3,600	16%	3,400	14%
-	炭化水素類																						
-	酢酸エチル	20,220	18%	18,980	25%	9,700	23%	8,100	23%	7,600	22%	8,300	23%	7,000	25%	5,900	24%	6,700	25%	5,700	25%	5,600	24%
-	メチルエチルケトン	15,960	14%	11,830	15%	6,400	15%	5,800	16%	3,300	10%	3,600	10%	3,100	11%	2,800	11%	3,000	11%	2,700	12%	2,900	12%
80	キシレン																						
-	イソプロピルアルコール	18,720	16%	15,000	20%	8,500	20%	6,300	18%	6,600	19%	6,600	19%	5,300	19%	4,400	18%	5,000	19%	4,300	19%	4,600	19%
-	メチルアルコール(メタノール)																						
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																						
-	アセトン																						
392	ノルマルヘキサン																						
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エチルエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセート)																						
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他	23,740	21%	10,890	14%	9,900	23%	8,500	24%	11,500	33%	10,800	31%	8,100	29%	7,600	31%	7,700	29%	6,500	29%	7,100	30%
-	物質別データなし																						
	合計	115,500	100%	76,600	100%	42,700	100%	35,500	100%	34,600	100%	35,400	100%	28,200	100%	24,500	100%	26,800	100%	22,800	100%	23,600	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名:ドラム缶工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																						
-	炭化水素類																						
-	酢酸エチル																						
-	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
-	イソプロピルアルコール																						
-	メチルアルコール(メタノール)																						
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																						
-	アセトン																						
392	ノルマルヘキサン																						
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エチルエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセート)																						
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他																						
-	物質別データなし	1,763	100%	1,818	100%	1,592	100%	1,570	100%	1,598	100%	1,545	100%	1,382	100%	1,322	100%	1,157	100%	1,217	100%	1,186	100%
	合計	1,763	100%	1,818	100%	1,592	100%	1,570	100%	1,598	100%	1,545	100%	1,382	100%	1,322	100%	1,157	100%	1,217	100%	1,186	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名:軽金属製品協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	215	62%	180	58%	20	21%	26	19%	25	17%	58	33%	59	35%	85	56%	89	47%	84	48%	73	45%
-	炭化水素類																						
-	酢酸エチル																						
-	メチルエチルケトン																						
80	キシレン	129	37%	123	39%	56	58%	76	55%	83	56%	78	45%	73	43%	41	27%	65	34%	58	33%	58	36%
-	イソプロピルアルコール																						
-	メチルアルコール(メタノール)																						
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																						
-	アセトン																						
392	ノルマルヘキサン																						
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン	5	1%	9	3%	21	22%	35	26%	40	27%	36	21%	36	21%	26	17%	35	19%	33	19%	31	19%
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセート)																						
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他																						
-	物質別データなし																						
	合計	349	100%	312	100%	97	100%	137	100%	148	100%	174	100%	168	100%	152	100%	189	100%	175	100%	162	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本プラスチック工業連盟

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	5,676	46%	4,936	24%	961	15%	1,023	16%	972	20%	61	1%	553	12%	647	14%	582	14%	1,255	26%	606	13%
-	炭化水素類	679	6%							530	11%	402	9%	586	13%	592	13%	662	16%	25	1%	677	15%
-	酢酸エチル	3,416	28%	6,810	34%	1,594	24%	2,300	37%	1,382	29%	1,573	34%	1,185	26%	1,463	31%	1,382	32%	1,626	34%	1,584	35%
-	メチルエチルケトン	137	1%	2,342	12%	1,226	19%	189	3%	170	4%	299	7%	114	2%	133	3%	127	3%	196	4%	139	3%
80	キシレン	24	0%							9	0%	13	0%	16	0%	14	0%	14	0%	5	0%	4	0%
-	イソプロピルアルコール	200	2%	703	3%	192	3%	127	2%	101	2%	106	2%	48	1%	75	2%	61	1%	154	3%	55	1%
-	メチルアルコール(メタノール)	0	0%							0	0%	0	0%	0	0%	105	2%	0	0%				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	1,763	14%	1,486	7%	919	14%	1,199	19%	918	19%	1,040	23%	1,072	23%	1,000	21%	876	21%	899	19%	889	20%
-	アセトン	382	3%							3	0%	133	3%	9	0%	30	1%	10	0%	28	1%	18	0%
392	ノルマル-ヘキサン	0	0%							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%						
-	シクロヘキサン	0	0%							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%						
53	エチルベンゼン	0	0%							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%						
128	クロロメタン(塩化メチル)	0	0%							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%						
232	N,N-ジメチルホルムアミド	0	0%	827	4%	150	2%	0	0%	0	0%	0	0%	4	0%	0	0%						
318	二硫化炭素	0	0%							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)	0	0%							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%						
281	トリクロロエチレン	0	0%							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	0	0%							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%						
134	酢酸ビニル	0	0%							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%						
400	ベンゼン	0	0%							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%						
240	スチレン	5	0%							3	0%	4	0%	2	0%	2	0%			2	0%		
-	プロピルアルコール	0	0%							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%						
157	1,2-ジクロロエタン	0	0%							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)	0	0%							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)	0	0%							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%						
-	クロロエタン	0	0%							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%						
262	テトラクロロエチレン	0	0%							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%						
86	クレゾール	0	0%							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%						
-	ブタノール	0	0%							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%						
-	ブチルセロソルブ	0	0%							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%						
349	フェノール	0	0%							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%						
-	メチルイソブチルケトン	12	0%							6	0%	7	0%	13	0%	8	0%	9	0%	1	0%	1	0%
-	イソブタノール	0	0%							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%						
-	酢酸ブチル	0	0%							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%						
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセテート)	0	0%							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%						
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル	0	0%							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%						
339	N-ビニル-2-ピロリドン	0	0%							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%						
-	その他	246	2%	3,089	15%	1,581	24%	1,456	23%	637	13%	928	20%	937	20%	592	13%	540	13%	601	13%	561	12%
-	物質別データなし	51	0%							30	1%	30	1%	1	0%	1	0%						
	合計	12,211	100%	20,193	100%	6,623	100%	6,294	100%	4,760	100%	4,594	100%	4,594	100%	4,662	100%	4,263	100%	4,792	100%	4,533	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本オフィス家具協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	257	13%	125	10%	67	10%	80	12%	83	12%	70	10%	105	12%	66	8%	74	9%	74	9%	58	8%
-	炭化水素類																						
-	酢酸エチル	49	2%	59	5%	52	8%	34	5%	33	5%	96	13%	111	13%	130	16%	135	17%	148	19%	136	18%
-	メチルエチルケトン																						
80	キシレン	896	45%	498	40%	214	31%	192	29%	177	26%	164	23%	184	21%	181	23%	180	23%	152	20%	129	17%
-	イソプロピルアルコール																						
-	メチルアルコール(メタノール)																						
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	30	2%	17	1%	15	2%	17	3%	14	2%	14	2%	14	2%	12	1%	13	2%	8	1%	4	1%
-	アセトン											3	0%	4	0%	4	0%	4	1%	4	1%	2	0%
392	ノルマル-ヘキサン									6	1%	1	0%	1	0%	3	0%	1	0%	2	0%	2	0%
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン	237	12%	178	14%	95	14%	102	15%	92	13%	80	11%	121	14%	103	13%	105	13%	81	10%	77	10%
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン	11	1%	3	0%	5	1%	7	1%	8	1%	8	1%	7	1%	3	0%	9	1%	8	1%	10	1%
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセテート)																						
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他	496	25%	245	20%	231	34%	231	35%	276	40%	291	40%	313	36%	300	37%	275	35%	297	38%	343	45%
-	物質別データなし			110	9%																		
	合計	1,977	100%	1,235	100%	680	100%	663	100%	689	100%	727	100%	860	100%	802	100%	796	100%	779	100%	765	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本表面処理機材工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																						
-	炭化水素類																						
-	酢酸エチル																						
-	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
-	イソプロピルアルコール	1	91%	1	88%	0	45%	0	35%	0	51%	0	51%	0	72%	0	73%	0	55%	0	84%	0	83%
-	メチルアルコール(メタノール)	0	5%	0	10%	0	53%	0	58%	0	46%	0	47%	0	26%	0	25%	0	43%	0	17%	0	17%
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																						
-	アセトン																						
392	ノルマル-ヘキサン																						
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセート)																						
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他	0	4%	0	3%	0	2%	0	4%	0	2%	0	2%	0	3%	0	3%	0	2%	0	1%	0	0%
-	物質別データなし																						
	合計	1	100%	1	100%	0	100%	0	100%	0	100%	0	100%	0	100%	0	100%	0	100%	0	100%	0	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本自動車車体工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	1,539	8%	1,394	7%	915	8%	810	7%	872	7%	814	7%	708	7%	730	7%	954	10%	905	10%	857	9%
-	炭化水素類																						
-	酢酸エチル																						
-	メチルエチルケトン																						
80	キシレン	2,246	11%	1,626	9%	975	9%	911	8%	952	8%	961	8%	831	8%	880	8%	1,065	11%	963	10%	895	9%
-	イソプロピルアルコール																						
-	メチルアルコール(メタノール)																						
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																						
-	アセトン																						
392	ノルマルヘキサン																						
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン	717	4%	796	4%	595	5%	487	4%	580	5%	572	5%	520	5%	555	5%	665	7%	592	6%	551	6%
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	120	1%	224	1%	211	2%	179	2%	199	2%	187	2%	162	2%	154	1%	207	2%	151	2%	144	1%
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他																						
-	物質別データなし	15,678	77%	15,020	79%	8,452	76%	8,742	79%	9,137	78%	8,908	78%	8,040	78%	8,397	78%	7,095	71%	6,884	73%	7,443	75%
	合計	20,300	100%	19,060	100%	11,148	100%	11,129	100%	11,740	100%	11,442	100%	10,261	100%	10,716	100%	9,986	100%	9,495	100%	9,890	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本接着剤工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	171	29%	100	21%	69	22%	79	24%	80	24%	79	22%	70	22%	69	22%	71	22%	75	22%	68	21%
-	炭化水素類																						
-	酢酸エチル	105	18%	104	22%	65	20%	71	22%	71	21%	82	23%	75	23%	77	24%	79	25%	84	25%	77	24%
-	メチルエチルケトン	46	8%	36	8%	31	10%	33	10%	37	11%	41	12%	39	12%	35	11%	37	12%	38	11%	42	13%
80	キシレン	24	4%	21	4%	17	5%	17	5%	17	5%	16	5%	13	4%	13	4%	13	4%	15	4%	17	5%
-	イソプロピルアルコール																						
-	メチルアルコール(メタノール)	112	19%	92	20%	59	19%	54	17%	56	17%	66	19%	57	18%	58	18%	55	17%	56	17%	58	18%
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																						
-	アセトン	42	7%	41	9%	25	8%	24	7%	24	7%	27	8%	25	8%	24	8%	24	8%	25	7%	26	8%
392	ノルマルヘキサン	45	8%	29	6%	19	6%	14	4%	15	5%	17	5%	16	5%	14	4%	14	4%	13	4%	12	4%
-	シクロヘキサン	13	2%	32	7%	25	8%	24	7%	25	8%	25	7%	26	8%	23	7%	24	8%	26	8%	25	8%
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセテート)																						
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他	40	7%	15	3%	8	3%	7	2%	6	2%	3	1%	2	1%	2	1%	2	1%	2	1%	2	1%
-	物質別データなし																						
	合計	598	100%	470	100%	318	100%	323	100%	331	100%	355	100%	323	100%	315	100%	319	100%	334	100%	327	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: プレハブ建築協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】		
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	
300	トルエン	1,162	69%	675	62%	370	52%	331	17%	289	34%	80	16%	66	17%	48	17%	44	18%	38	17%	36	17%	
-	炭化水素類																							
-	酢酸エチル			10	1%	20	3%	16	1%	16	2%	21	4%	15	4%	4	1%	9	4%	10	5%	7	4%	
-	メチルエチルケトン			7	1%	8	1%	6	0%	7	1%	12	2%	10	3%	2	1%	5	2%	8	4%	5	2%	
80	キシレン	283	17%	157	14%	175	25%	150	8%	134	16%	155	31%	103	27%	83	29%	39	16%	29	13%	26	13%	
-	イソプロピルアルコール			3	0%	5	1%	1	0%	6	1%	2	0%	2	0%	2	1%	1	1%	2	1%	1	1%	
-	メチルアルコール(メタノール)			23	2%	5	1%	1,267	66%	221	26%	47	9%	43	11%	20	7%	18	7%	20	9%	13	6%	
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	158	9%	51	5%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	1%	3	1%	3	1%	5	2%	
-	アセトン			30	3%	0	0%	0	0%	1	0%	1	0%	1	0%	1	0%	1	0%	0	0%	1	0%	
392	ノルマルヘキサン			0	0%	0	0%	1	0%	1	0%	0	0%	0	0%	1	0%	2	1%	1	0%	1	1%	
-	シクロヘキサン			0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	1%	
53	エチルベンゼン	24	1%	15	1%	42	6%	53	3%	64	7%	69	14%	37	9%	26	9%	13	5%	10	5%	10	5%	
128	クロロメタン(塩化メチル)			0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	
232	N,N-ジメチルホルムアミド			0	0%	0	0%	0	0%	1	0%	1	0%	0	0%	0	0%	1	0%	0	0%	7	3%	
318	二硫化炭素																							
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)														0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
281	トリクロロエチレン			0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	44	3%	44	4%	2	0%	5	0%	7	1%	5	1%	5	1%	3	1%	4	1%	4	2%	3	2%	
134	酢酸ビニル	2	0%	2	0%	4	1%	2	0%	2	0%	3	1%	2	1%	2	1%	2	1%	2	1%	1	1%	
400	ベンゼン			0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	
240	スチレン	1	0%	49	4%	3	0%	3	0%	3	0%	3	1%	2	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	
-	プロピルアルコール														0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
157	1,2-ジクロロエタン			0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	
94	クロロエチレン(塩化ビニル)			0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	
83	クメン(イソプロピルベンゼン)			0	0%	0	0%	2	0%	2	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	
-	クロロエタン			0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	
262	テトラクロロエチレン			0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	
86	クレゾール														0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
-	ブタノール			1	0%	1	0%	1	0%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0%	1	0%	
-	ブチルセロソルブ			5	0%	45	6%	48	3%	57	7%	62	12%	61	16%	63	22%	73	29%	62	28%	72	34%	
349	フェノール			0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	
-	メチルイソブチルケトン			5	0%	5	1%	11	1%	15	2%	18	4%	19	5%	17	6%	19	8%	18	8%	7	3%	
-	イソブタノール			2	0%	1	0%	1	0%	1	0%	1	0%	1	0%	1	0%	1	0%	1	0%	1	1%	
-	酢酸ブチル			17	2%	17	2%	12	1%	14	2%	11	2%	10	3%	13	5%	12	5%	11	5%	9	4%	
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセート)			0	0%	8	1%	9	0%	9	1%	9	2%	8	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル			0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	
339	N-ビニル-2-ピロリドン														0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
-	その他			1	0%			0	0%	0	0%	2	0%	0	0%	0	0%	39	16%	0	0%	0	0%	
-	物質別データなし																			0	0%	0	0%	
	合計	1,675	100%	1,096	100%	712	100%	1,920	100%	852	100%	506	100%	385	100%	290	100%	247	100%	221	100%	209	100%	

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：印刷インキ工業連合会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	109	26%	79	25%	46	16%	37	18%	36	15%	36	15%	44	17%	39	16%	36	14%	30	12%	25	14%
-	炭化水素類									2	1%	1	0%	-	-			0	0%	0	0%	0	0%
-	酢酸エチル	79	19%	55	18%	49	17%	43	21%	49	21%	47	19%	46	18%	49	20%	49	20%	46	18%	49	27%
-	メチルエチルケトン	81	19%	48	15%	37	13%	29	14%	29	12%	27	11%	27	11%	25	10%	24	10%	25	10%	21	12%
80	キシレン	27	6%	17	5%	8	3%	5	2%	3	1%	3	1%	4	2%	3	1%	3	1%	1	0%	1	1%
-	イソプロピルアルコール	46	11%	34	11%	33	12%	26	13%	27	11%	32	13%	32	13%	33	13%	32	13%	30	12%	31	17%
-	メチルアルコール(メタノール)	15	4%	10	3%	3	1%	4	2%	2	1%	2	1%	2	1%	2	1%	2	1%	2	1%	1	1%
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)									0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
-	アセトン									-	-	-	-	-	0	0%	-	-	-	-	-	-	-
392	ノルマルヘキサン									0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
-	シクロヘキサン									0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
53	エチルベンゼン									2	1%	2	1%	2	1%	1	0%	2	1%	0	0%	1	1%
128	クロロメタン(塩化メチル)									0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
232	N,N-ジメチルホルムアミド									0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
318	二硫化炭素									0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)									0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
281	トリクロロエチレン									0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
297	1,3,5-トリメチルベンゼン									3	1%	4	2%	5	2%	4	2%	2	1%	-	-	2	1%
134	酢酸ビニル									0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
400	ベンゼン									0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
240	スチレン									0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
-	プロピルアルコール									0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
157	1,2-ジクロロエタン									0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
94	クロロエチレン(塩化ビニル)									0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
83	クメン(イソプロピルベンゼン)									0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
-	クロロエタン									0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
262	テトラクロロエチレン									0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
86	クレゾール									0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
-	ブタノール									0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
-	ブチルセロソルブ									6	3%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
349	フェノール									0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
-	メチルイソブチルケトン									4	2%	4	2%	6	2%	3	1%	2	1%	3	1%	2	1%
-	イソブタノール									1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
-	酢酸ブチル									3	1%	6	2%	4	2%	4	2%	5	2%	4	2%	3	2%
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセート)									0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル									3	1%	0	0%	3	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
339	N-ビニル-2-ピロリドン									0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
-	その他	66	16%	70	22%	107	38%	61	30%	69	29%	79	33%	80	31%	82	33%	93	37%	110	44%	46	25%
-	物質別データなし	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	合計	423	100%	313	100%	283	100%	205	100%	239	100%	243	100%	255	100%	245	100%	250	100%	251	100%	182	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本工業塗装協同組合連合会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】※		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】			
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比		
300	トルエン																								
-	炭化水素類	364	19%	364	19%	253	19%	242	19%	234	19%	243	19%	335	19%	274	19%	329	19%	422	19%	356	19%		
-	酢酸エチル																								
-	メチルエチルケトン																								
80	キシレン	493	25%	493	25%	342	25%	328	25%	299	24%	330	25%	454	25%	371	25%	446	25%	572	25%	469	25%		
-	イソプロピルアルコール																								
-	メチルアルコール(メタノール)																								
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																								
-	アセトン																								
392	ノルマルヘキサン																								
-	シクロヘキサン																								
53	エチルベンゼン	163	8%	163	8%	113	8%	108	8%	105	8%	109	8%	149	8%	122	8%	147	8%	188	8%	150	8%		
128	クロロメタン(塩化メチル)																								
232	N,N-ジメチルホルムアミド																								
318	二硫化炭素																								
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																								
281	トリクロロエチレン																								
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																								
134	酢酸ビニル																								
400	ベンゼン																								
240	スチレン																								
-	プロピルアルコール																								
157	1,2-ジクロロエタン																								
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																								
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																								
-	クロロエタン																								
262	テトラクロロエチレン																								
86	クレゾール																								
-	ブタノール	161	8%	161	8%	111	8%	107	8%	105	8%	107	8%	148	8%	121	8%	145	8%	186	8%	150	8%		
-	ブチルセロソルブ																								
349	フェノール																								
-	メチルイソブチルケトン																								
-	イソブタノール																								
-	酢酸ブチル																								
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																								
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																								
339	N-ビニル-2-ピロリドン																								
-	その他	705	36%	705	36%	539	40%	517	40%	510	41%	520	40%	715	40%	585	40%	702	40%	902	40%	750	40%		
-	物質別データなし	72	4%	72	4%																				
	合計	1,958	100%	1,958	100%	1,358	100%	1,302	100%	1,253	100%	1,309	100%	1,801	100%	1,474	100%	1,768	100%	2,270	100%	1,875	100%		

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 排出量自体を把握していない年度がある場合は、直近の把握している年度の排出量を用いて集計(※印)

注3) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本ゴム工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																						
-	炭化水素類																						
-	酢酸エチル																						
-	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
-	イソプロピルアルコール																						
-	メチルアルコール(メタノール)																						
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																						
-	アセトン																						
392	ノルマルヘキサン																						
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセテート)																						
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他																						
-	物質別データなし	22,220	100%	19,084	100%	11,582	100%	10,320	100%	8,846	100%	8,314	100%	7,939	100%	7,363	100%	7,188	100%	6,971	100%	6,782	100%
	合計	22,220	100%	19,084	100%	11,582	100%	10,320	100%	8,846	100%	8,314	100%	7,939	100%	7,363	100%	7,188	100%	6,971	100%	6,782	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本自動車車体整備協同組合連合会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】※		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																						
-	炭化水素類																						
-	酢酸エチル																						
-	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
-	イソプロピルアルコール																						
-	メチルアルコール(メタノール)																						
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																						
-	アセトン																						
392	ノルマル-ヘキサン																						
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセート)																						
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他																						
-	物質別データなし	536	100%			333	100%	312	100%	311	100%	299	100%	321	100%	342	100%	312	100%	332	100%	260	100%
	合計	536	100%	536	100%	333	100%	312	100%	311	100%	299	100%	321	100%	342	100%	312	100%	332	100%	260	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 排出量自体を把握していない年度がある場合は、直近の把握している年度の排出量を用いて集計(※印)

注3) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本粘着テープ工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	13,401	63%	7,788	63%	3,663	72%	3,291	72%	3,001	67%	2,794	64%	2,950	65%	2,829	71%	2,582	64%	2,358	61%	1,744	61%
-	炭化水素類																						
-	酢酸エチル	4,931	23%	2,645	21%	539	11%	538	12%	539	12%	476	11%	569	13%	498	13%	629	16%	582	15%	322	11%
-	メチルエチルケトン	774	4%	326	3%	146	3%	62	1%	102	2%	93	2%	100	2%	89	2%	93	2%	84	2%	49	2%
80	キシレン	45	0%	13	0%	5	0%	30	1%	1	0%	1	0%	1	0%	11	0%	22	1%	13	0%	1	0%
-	イソプロピルアルコール																						
-	メチルアルコール(メタノール)																						
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																						
-	アセトン																						
392	ノルマル-ヘキサン	726	3%	294	2%	232	5%	432	9%	512	11%	631	15%	563	12%	407	10%	378	9%	443	11%	642	23%
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセート)																						
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他	1,311	6%	1,232	10%	486	10%	265	6%	309	7%	340	8%	339	7%	148	4%	344	8%	416	11%	94	3%
-	物質別データなし																						
	合計	21,175	100%	12,315	100%	5,090	100%	4,600	100%	4,463	100%	4,334	100%	4,522	100%	3,982	100%	4,048	100%	3,896	100%	2,853	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 全国楽器協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】※		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	110	46%	110	46%	23	41%	22	40%	21	45%	18	41%	19	44%	22	35%	21	40%	20	38%	18	36%
-	炭化水素類																						
-	酢酸エチル																						
-	メチルエチルケトン																						
80	キシレン	41	17%	41	17%	6	11%	6	11%	5	11%	5	11%	4	9%	5	8%	5	9%	5	9%	5	10%
-	イソプロピルアルコール																						
-	メチルアルコール(メタノール)																						
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	9	4%	9	4%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
-	アセトン																						
392	ノルマル-ヘキサン																						
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	ステレン	81	34%	81	34%	27	48%	27	49%	20	43%	21	48%	20	47%	36	57%	27	51%	28	53%	27	54%
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他																						
-	物質別データなし																						
	合計	240	100%	240	100%	56	100%	55	100%	47	100%	44	100%	43	100%	63	100%	53	100%	53	100%	50	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 排出量自体を把握していない年度がある場合は、直近の把握している年度の排出量を用いて集計(※印)

注3) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本釣用品工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																						
-	炭化水素類																						
-	酢酸エチル																						
-	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
-	イソプロピルアルコール																						
-	メチルアルコール(メタノール)																						
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	110	100%	80	100%	69	100%	63	100%	66	100%	70	100%	70	100%	70	100%	70	100%	66	100%	64	100%
-	アセトン																						
392	ノルマル-ヘキサン																						
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセテート)																						
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他																						
-	物質別データなし																						
	合計	110	100%	80	100%	69	100%	63	100%	66	100%	70	100%	70	100%	70	100%	70	100%	66	100%	64	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本金属ハウスウェア工業組合

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】※		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																						
-	炭化水素類																						
-	酢酸エチル																						
-	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
-	イソプロピルアルコール																						
-	メチルアルコール(メタノール)																						
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																						
-	アセトン																						
392	ノルマルヘキサン																						
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン	489	100%	489	100%	302	100%	270	100%	262	100%	260	100%	210	100%	200	100%	199	100%	199	100%	199	100%
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他																						
-	物質別データなし																						
	合計	489	100%	489	100%	302	100%	270	100%	262	100%	260	100%	210	100%	200	100%	199	100%	199	100%	199	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 排出量自体を把握していない年度がある場合は、直近の把握している年度の排出量を用いて集計(※印)

注3) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本金属洋食器工業組合

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】※		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																						
-	炭化水素類																						
-	酢酸エチル																						
-	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
-	イソプロピルアルコール																						
-	メチルアルコール(メタノール)																						
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																						
-	アセトン																						
392	ノルマルヘキサン																						
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン	201	100%	201	100%	33	99%	29	100%	28	100%	28	100%	28	100%	27	100%	26	100%	25	100%	25	100%
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセート)																						
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他																						
-	物質別データなし																						
	合計	201	100%	201	100%	33	100%	29	100%	28	100%	28	100%	28	100%	27	100%	26	100%	25	100%	25	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 排出量自体を把握していない年度がある場合は、直近の把握している年度の排出量を用いて集計(※印)

注3) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本ガス石油機器工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】※		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																						
-	炭化水素類																						
-	酢酸エチル																						
-	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
-	イソプロピルアルコール																						
-	メチルアルコール(メタノール)																						
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																						
-	アセトン																						
392	ノルマルヘキサン																						
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセート)																						
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他																						
-	物質別データなし	765	100%	765	100%	513	100%	588	100%	529	100%	560	100%	504	100%	364	100%	361	100%	374	100%	432	100%
	合計	765	100%	765	100%	513	100%	588	100%	529	100%	560	100%	504	100%	364	100%	361	100%	374	100%	432	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 排出量自体を把握していない年度がある場合は、直近の把握している年度の排出量を用いて集計(※印)

注3) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 全国石油商業組合連合会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】※		【22年度】※		【23年度】※		【24年度】※		【25年度】※		【26年度】※		【27年度】※		【28年度】		【29年度】		【30年度】			
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比		
300	トルエン																								
-	炭化水素類	120,563	100%																99,959	100%	95,848	100%	94,333	100%	
-	酢酸エチル																								
-	メチルエチルケトン																								
80	キシレン																								
-	イソプロピルアルコール																								
-	メチルアルコール(メタノール)																								
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																								
-	アセトン																								
392	ノルマル-ヘキサン																								
-	シクロヘキサン																								
53	エチルベンゼン																								
128	クロロメタン(塩化メチル)																								
232	N,N-ジメチルホルムアミド																								
318	二硫化炭素																								
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																								
281	トリクロロエチレン																								
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																								
134	酢酸ビニル																								
400	ベンゼン																								
240	スチレン																								
-	プロピルアルコール																								
157	1,2-ジクロロエタン																								
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																								
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																								
-	クロロエタン																								
262	テトラクロロエチレン																								
86	クレゾール																								
-	ブタノール																								
-	ブチルセロソルブ																								
349	フェノール																								
-	メチルイソブチルケトン																								
-	イソブタノール																								
-	酢酸ブチル																								
133	酢酸2-エチルエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセート)																								
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル																								
339	N-ビニル-2-ピロリドン																								
-	その他																								
-	物質別データなし																								
	合計	120,563	100%	120,563	100%	120,563	100%	120,563	100%	120,563	100%	120,563	100%	120,563	100%	120,563	100%	120,563	100%	99,959	100%	95,848	100%	94,333	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 排出量自体を把握していない年度がある場合は、直近の把握している年度の排出量を用いて集計(※印)

注3) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名:産業環境管理協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】		【26年度】		【27年度】		【28年度】		【29年度】		【30年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																						
-	炭化水素類																						
-	酢酸エチル																						
-	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
-	イソプロピルアルコール																						
-	メチルアルコール(メタノール)																						
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																						
-	アセトン																						
392	ノルマル-ヘキサン																						
-	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
-	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
-	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
-	ブタノール																						
-	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
-	メチルイソブチルケトン																						
-	イソブタノール																						
-	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセテート)																						
58	エチレンジグリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
-	その他																						
-	物質別データなし	2,600	100%	2,600	100%	1,666	100%	1,784	100%	1,576	100%	1,578	100%	1,417	100%	1,299	100%	1,050	100%	765	100%	734	100%
	合計	2,600	100%	2,600	100%	1,666	100%	1,784	100%	1,576	100%	1,578	100%	1,417	100%	1,299	100%	1,050	100%	765	100%	734	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。